

平成26年度
半田病院経営委員会



平成26年7月12日(土)
つるぎ町立半田病院

目 次

1. 平成25年度 病院事業報告

(1) 総括事項		1ページ
(2) 入院・外来患者の動向		
① 診療科別患者数の推移		2ページ
② 収益的収支決算		3ページ
③ 地域別入院・外来患者数等		4ページ
④ 入院・外来患者数の年度比較		6ページ
(3) 収支決算及び資金収支		
① 平成25年度 決算損益計算書		8ページ
② 比較貸借対照表		9ページ
③ 平成25年度 病院事業決算明細書		10ページ
④ 平成25年度 キャッシュフロー計算書		16ページ

2. 平成26年度 病院事業計画

(1) 現状と課題		18ページ
(2) 本年度の主な取組み		
① 地域包括ケアシステムへの取組み		19ページ
② 医師確保対策		19ページ
③ 医薬品の削減		20ページ
④ 材料費の抑制		20ページ
⑤ 防災対策		20ページ
(3) 平成26年度病院事業会計予算実施計画書	...	21ページ
(4) 患者数の分析について		23ページ

3. 病院改革プランの検証

(1) 改革プランの概要及び実施状況		30ページ
(2) 改革プラン達成状況		34ページ
(3) 決算状況		35ページ

4. 中・長期経営計画策定に向けた課題

(1) 国の動向		37ページ
(2) 人口推計		38ページ

5. 半田病院概要		別 冊
-----------	-------	-----

1. 平成25年度 病院事業報告

(1) 総括事項

平成25年度は、新病棟完成により病棟機能の充実が図られた中、病床数120床の病院としてスタートしました。

まず、入院・外来患者の動向については、入院患者数で34,747人、前年度比17%、5,142人の増加となりました。診療別では、内科が15,455人、前年度比30%、3,561人増加となり、全体の44%を占めています。なお、病床利用率が目標とした80%を若干下回る79.3%の結果となりました。

外来患者数も、76,019人前年度比0.7%、519人の増加となり、診療科別では小児科、外科、泌尿器科が増加しております。他では、健診者数が2,481人、前年度比10%、221人増となり、年々増加傾向となっています。このような、今年度の患者数の増加は、工事による悪影響が解消され、特に入院において安定的な稼働が図られたのも改善の一因と考えます。

次に、本年度病院事業収支決算は、事業収益2,402,177千円で前年度比6.0%、167,447千円増加となり、うち医業収益は2,314,070千円と収益全体の96%を占めています。

事業費用も、2,395,181千円で前年度比6.5%、146,026千円増となりました。うち医業費用は2,256,709千円と費用全体の94%を占めています。このうち職員給与比率は、58.4%となりました。増加した費用には、経費で17%、51,362千円増、あと、特別損失として、看護師住宅解体工事に伴う除却費33,157千円を計上しています。

そして、医業収支においては、57,361千円の医業利益を確保、当年度事業決算では、純利益6,996千円を計上することができました。

当年度取組み事業としては、県西部医療圏の公立3病院と医師会で構成する「あわ西部医療情報ネットワーク」への参画(H26. 2運用)など、医療サービスの効率化と病病、病診連携への強化を図りました。また、健診事業の拡充と共に、業務効率の向上を図るため、健診システムの導入など行ないました。

また、当院ホームページを更新し、幅広い情報発信に努めたほか、地域包括ケアの取組みとして、地域活動事業への職員派遣を行ないました。

以下、平成25年度の入院・外来患者数および収支決算の詳細について、報告いたします。

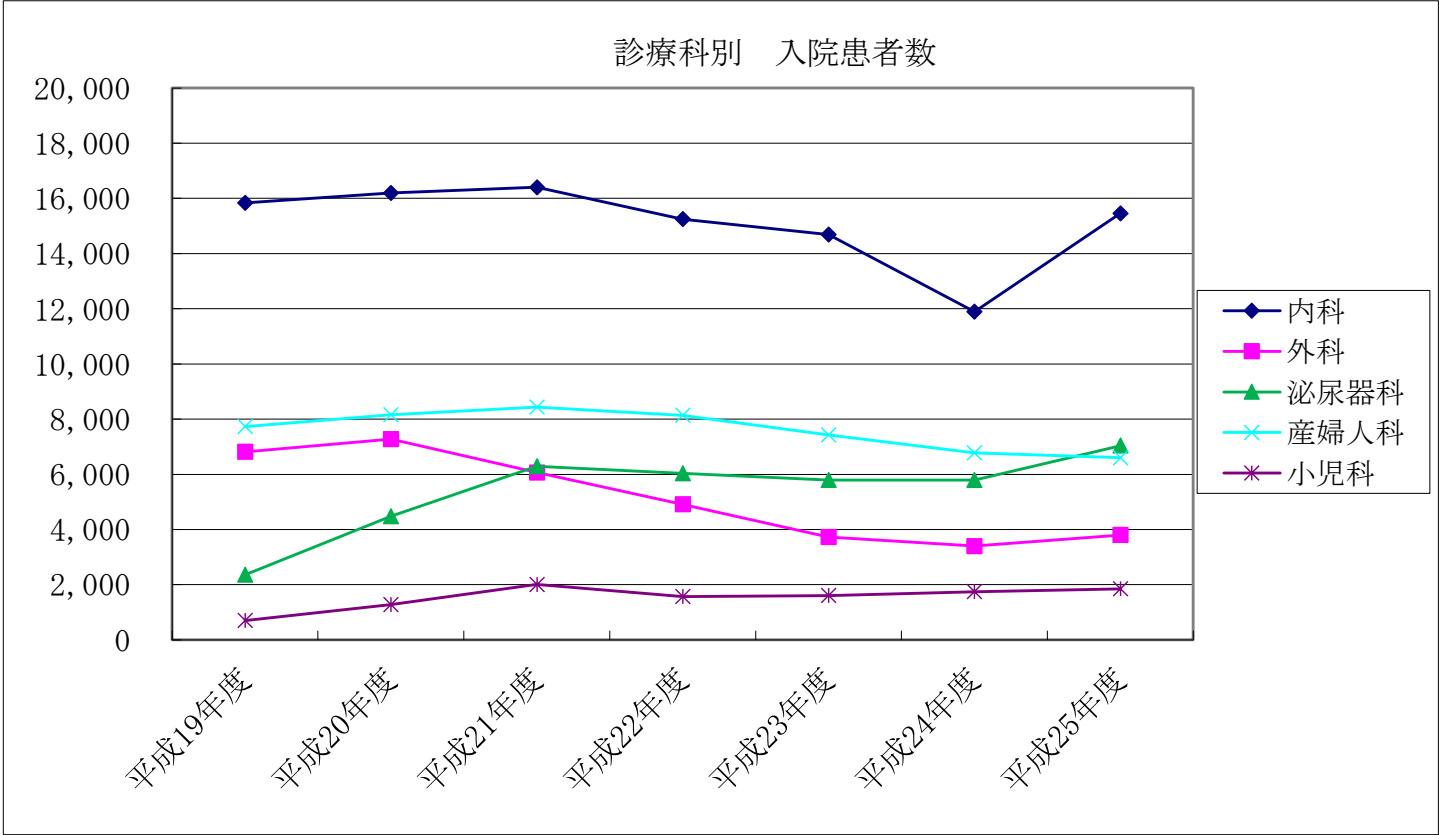
(2) 入院・外来患者の動向

①診療科別患者数の推移

【入 院】

(単位：人)

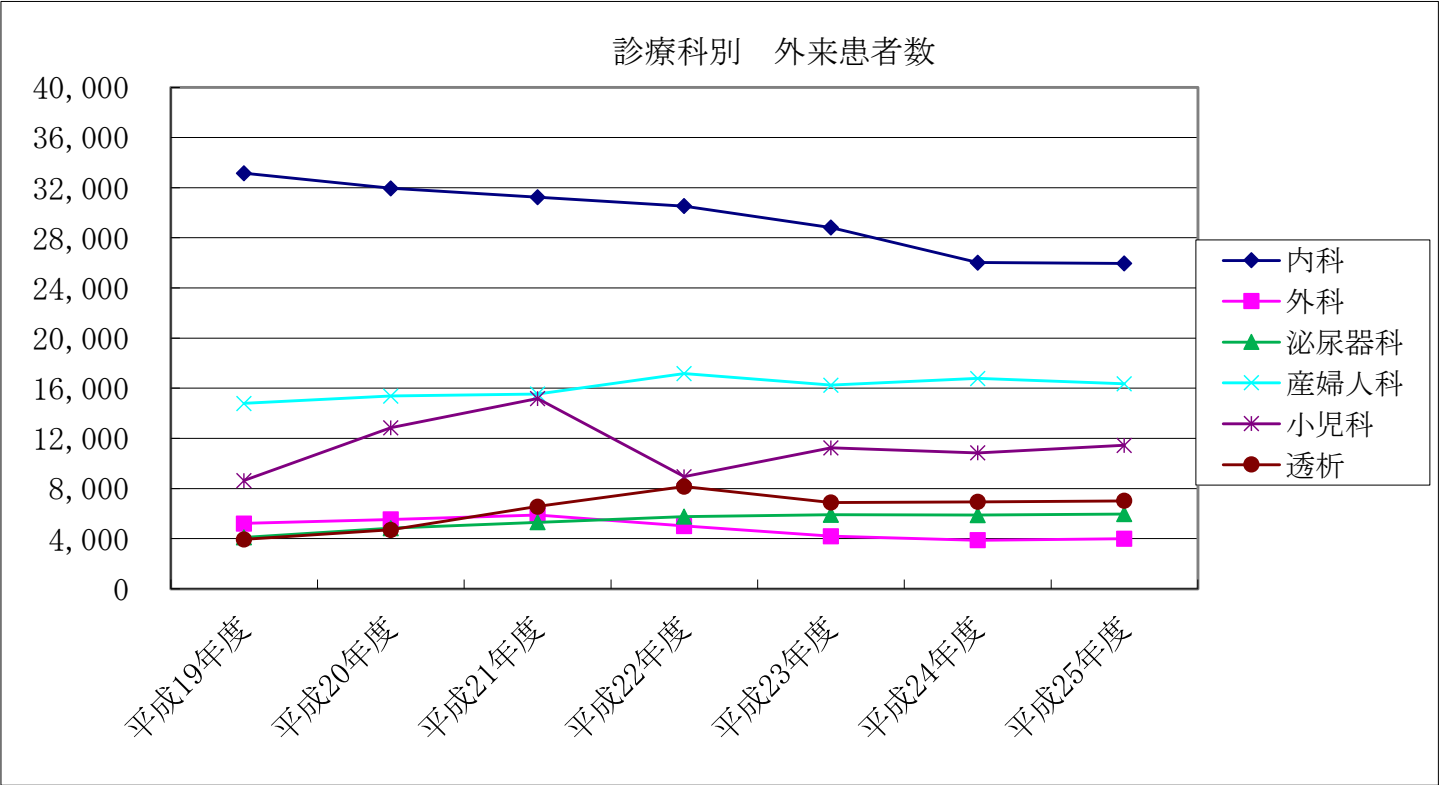
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
内 科	15,834	16,194	16,401	15,245	14,687	11,894	15,455
外 科	6,815	7,278	6,066	4,910	3,725	3,397	3,801
泌 尿 器 科	2,357	4,478	6,294	6,030	5,792	5,793	7,038
産 婦 人 科	7,729	8,157	8,436	8,135	7,428	6,779	6,601
小 児 科	703	1,276	2,007	1,573	1,609	1,742	1,852



【外 来】

(単位：人)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
内 科	33,168	31,960	31,240	30,540	28,816	26,030	25,959
外 科	5,217	5,539	5,888	5,013	4,188	3,875	3,989
泌 尿 器 科	4,098	4,843	5,311	5,762	5,910	5,894	5,955
産 婦 人 科	14,794	15,383	15,551	17,183	16,254	16,790	16,364
小 児 科	8,641	12,851	15,178	8,956	11,255	10,841	11,445
透 析	3,940	4,702	6,566	8,156	6,884	6,937	7,020

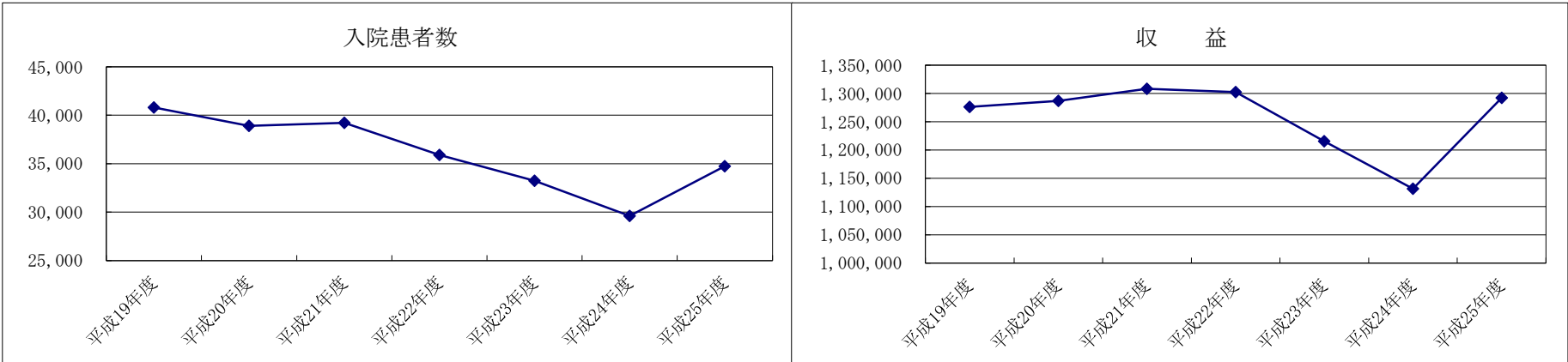


②収益の収支決算

【入 院】

(単位：人、千円)

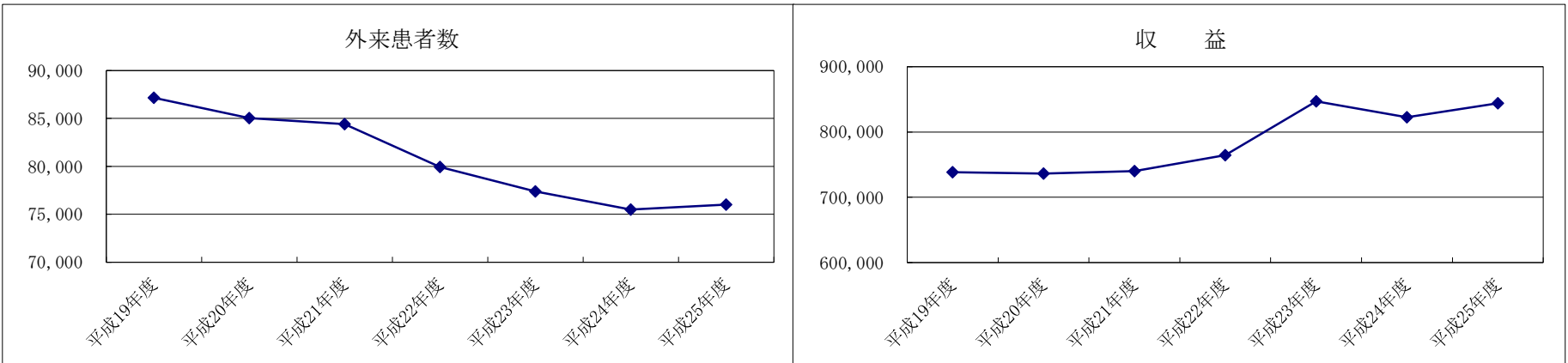
区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
入 院 患 者 数	40,803	38,907	39,204	35,893	33,241	29,605	34,747
収 益	1,276,029	1,286,762	1,308,314	1,302,567	1,215,697	1,131,200	1,292,356
一人 当 り (円)	31,273	33,073	33,372	36,290	36,572	38,210	37,193



【外 来】

(単位：人、千円)

区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
外 来 患 者 数	87,159	85,031	84,404	79,933	77,372	75,500	76,019
収 益	738,298	736,073	740,249	764,417	847,056	822,603	844,154
一人 当 り (円)	8,471	8,657	8,770	9,563	10,948	10,895	11,105



【時間外患者数】

(単位：人)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
うち入院	327	418	436	365	340	288	250
うち外来	7,140	7,452	8,081	5,654	4,503	4,517	4,339

【収益の収支】

(単位：千円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
医業収益 (A)	2,101,415	2,107,049	2,171,278	2,204,070	2,235,041	2,172,134	2,314,070
医業費用 (B)	2,016,963	2,051,189	2,099,179	2,132,369	2,162,855	2,124,909	2,256,709
(A)-(B) 医業利益 (C)	84,452	55,860	72,099	71,701	72,186	47,225	57,361
医業外収益 (D)	92,513	83,719	99,799	84,665	95,676	87,496	83,122
医業外費用 (E)	112,311	109,211	106,057	109,197	109,927	93,551	105,315
(C)+(D)-(E) 経常利益 (F)	64,654	30,368	65,841	47,169	57,935	41,170	35,168
特別利益 (G)	1,936	4,304	3,295	5,132	4,467	5,645	4,985
特別損失 (H)	4,839	1,973	2,357	8,955	214,211	30,695	33,157
(F)+(G)-(H) 当年度決算	61,751	32,699	66,779	43,346	-151,809	16,120	6,996

【繰入金】

(単位：千円)

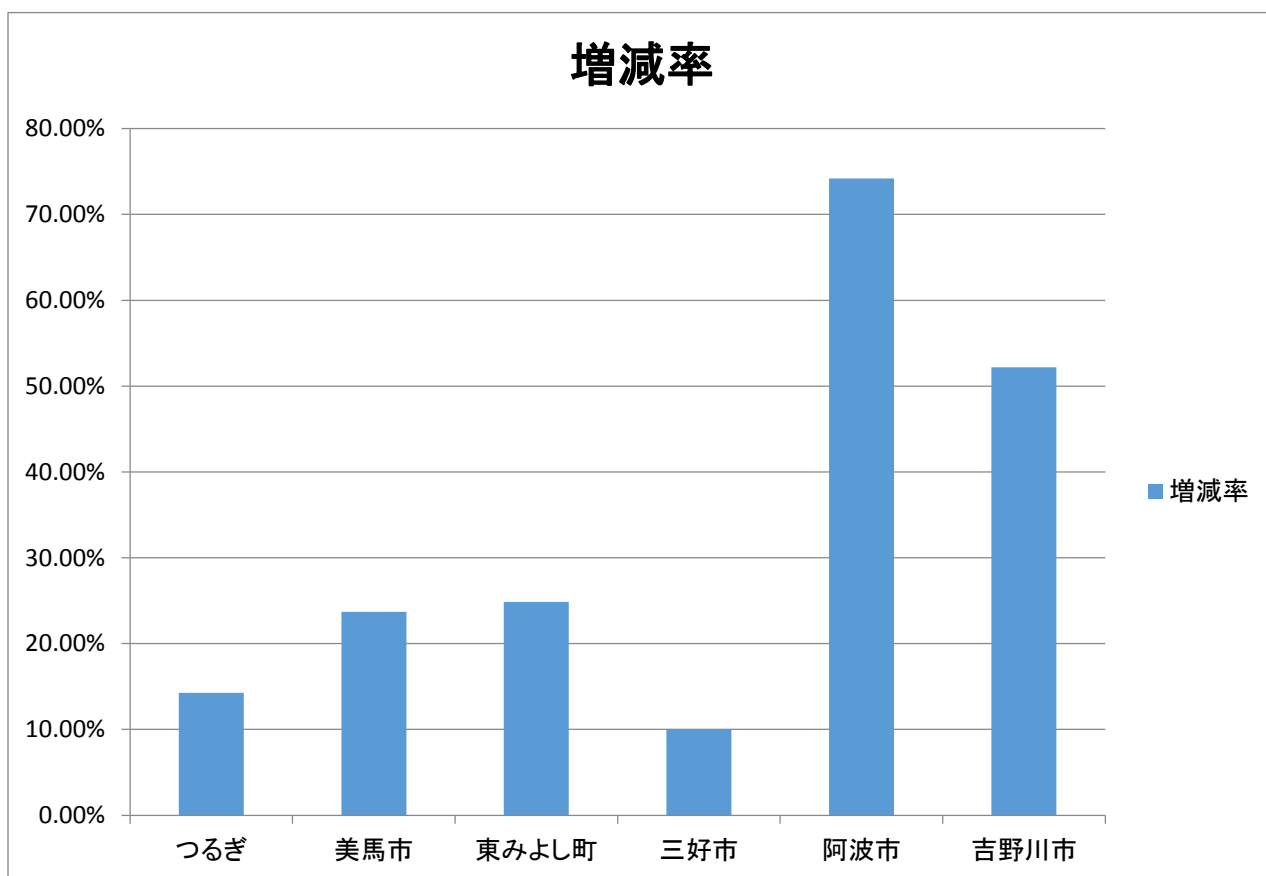
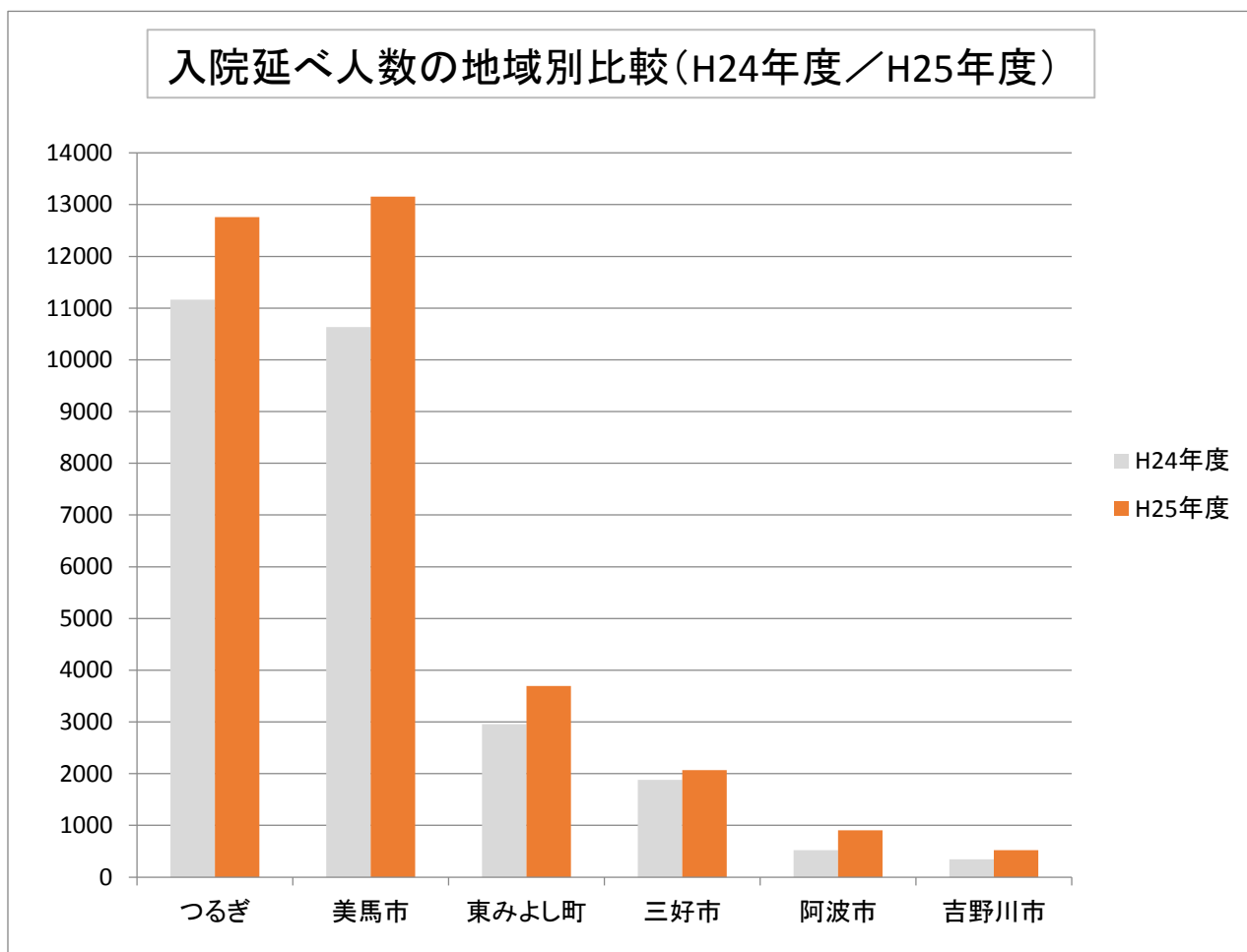
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
収 益 の 収 入	82,591	81,576	83,098	109,266	175,000	205,577	156,630
資 本 的 収 入	77,409	91,643	99,696	70,734	400,000	74,423	43,370
計	160,000	173,219	182,794	180,000	575,000	280,000	200,000

【経営指標】

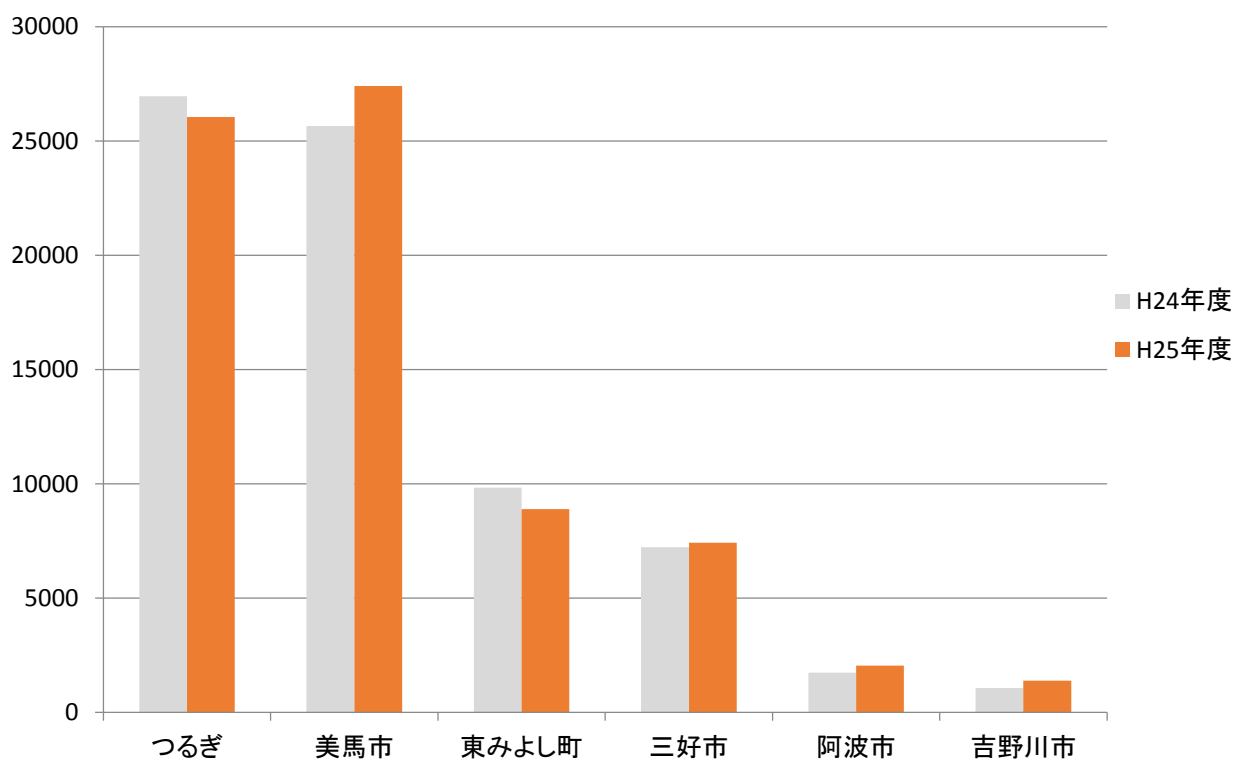
単位：％

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
医 業 収 支 比 率	104.2	102.7	103.4	103.4	103.3	102.2	102.5
経 常 収 支 比 率	103.0	101.4	103.0	102.1	102.5	101.9	101.5
実質収益対経常費用比率	99.2	97.6	99.2	97.2	94.8	92.6	94.9
給 与 比 率	58.8	59.5	60.2	60.6	60.6	61.2	58.4
病 床 利 用 率	83.2	79.5	80.2	73.4	74.9	87.5	79.3

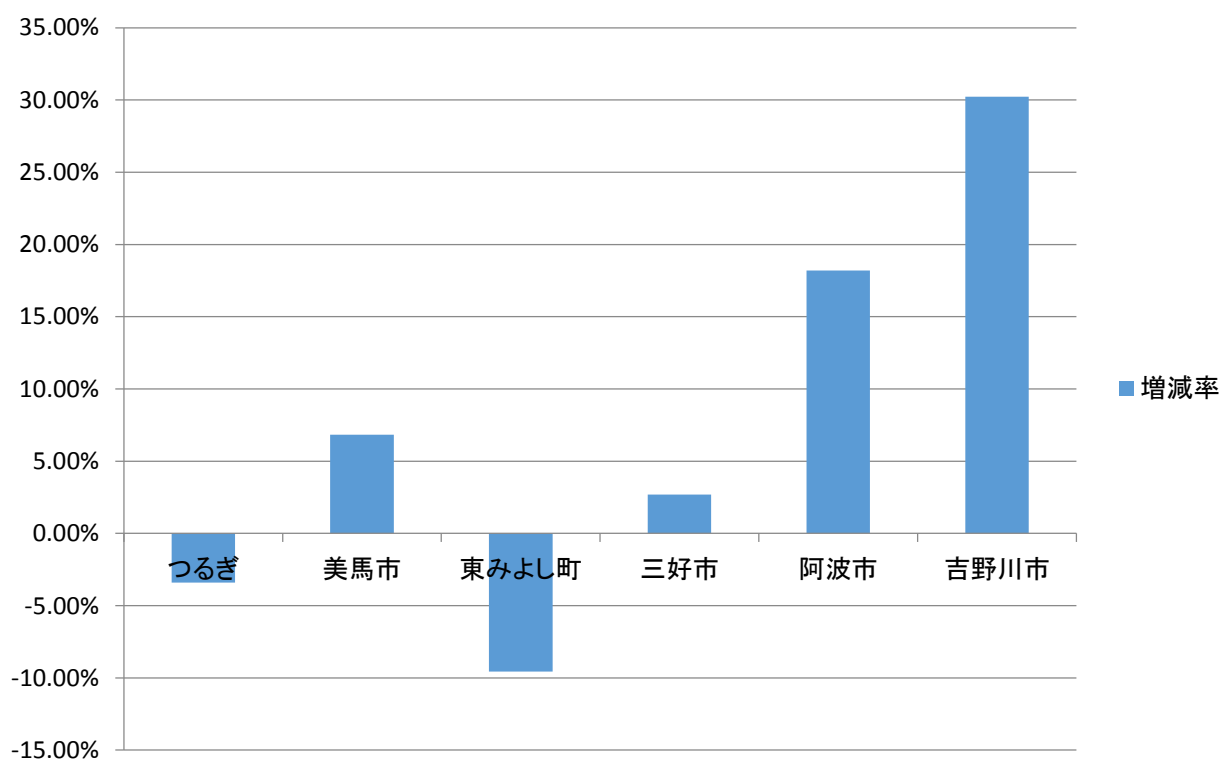
③地域別入院・外来患者数等



外来延べ人数の地域別比較(H24年度／H25年度)



増減率



④入院・外来患者数の年度比較

入院患者数の平成25年度と24年度の比較

	日数	一般病床								平均在院日数	参照
		内科	外科	整形外科	泌尿器科	産婦人科	小児科	合計(A)	病 床 利 用 率		透析
H25 . 4	30	1,070	291	0	564	540	186	2,651	73.6	11.6	283
H24 . 4	30	1,030	304	0	427	660	203	2,624	98.3	14.7	289
H25 . 5	31	1,280	448	0	588	545	161	3,022	81.2	12.8	341
H24 . 5	31	1,036	379	0	418	505	94	2,432	88.1	12.9	310
H25 . 6	30	1,365	285		553	445	180	2,828	78.6	13.0	330
H24 . 6	30	1,028	343	0	450	557	135	2,513	94.1	12.4	279
H25 . 7	31	1,337	231	0	592	662	164	2,986	80.3	13.0	341
H24 . 7	31	1,008	216	0	547	586	132	2,489	90.2	11.7	268
H25 . 8	31	1,360	307	0	635	603	120	3,025	81.3	12.9	341
H24 . 8	31	892	223	0	558	717	167	2,557	92.7	12.3	224
H25 . 9	30	1,220	381	0	575	534	91	2,801	77.8	13.8	350
H24 . 9	30	878	343	0	414	627	141	2,403	90.0	11.7	237
H25 . 10	31	1,400	223	0	583	578	155	2,939	79.0	13.7	314
H24 . 10	31	825	363	0	386	600	112	2,286	82.9	12.1	217
H25 . 11	30	1,262	258	0	577	676	140	2,913	80.9	13.3	300
H24 . 11	30	837	345	0	380	530	141	2,233	83.6	10.8	240
H25 . 12	31	1,189	347	0	674	563	247	3,020	81.2	13.3	310
H24 . 12	31	829	264	0	503	479	143	2,218	80.4	10.1	248
H26 . 1	31	1,356	308	0	596	416	109	2,785	74.9	13.1	310
H25 . 1	31	1,087	236	0	568	424	178	2,493	82.3	12.8	248
H26 . 2	28	1,373	390	0	528	488	135	2,914	86.7	15.8	262
H25 . 2	28	1,168	166	0	587	580	111	2,612	87.2	15.6	224
H26 . 3	31	1,243	332	0	573	551	164	2,863	77.0	12.0	328
H25 . 3	31	1,276	215	0	555	514	185	2,745	82.8	12.3	248
H25合計	365	15,455	3,801	0	7,038	6,601	1,852	34,747	79.3	13.1	3,810
H24合計	365	11,894	3,397	0	5,793	6,779	1,742	29,605	87.5	12.4	3,032
H25-H24	0	3,561	404	0	1,245	-178	110	5,142	-8.2	0.7	778

※参照の透析は、90日を超えて入院してる透析患者入院延数

※H24年度4月～12月の病床数は89床

外来患者数の平成25年度と24年度の比較

	日数	内科	外科	整形外科	泌尿器科	腎センター	産婦人科	小児科	耳鼻科	眼科	放射線科	合計	1日平均	健診	小児予防接種
H25 . 4	21	2,143	305	173	483	595	1,337	883	156	50	49	6,174	294	167	210
H24 . 4	20	2,271	277	170	508	566	1,291	783	145	48	14	6,073	304	131	138
H25 . 5	21	2,146	328	173	432	642	1,534	1,098	179	62	72	6,666	317	349	225
H24 . 5	21	2,450	351	182	517	629	1,408	929	129	77	12	6,684	318	258	153
H25 . 6	20	2,158	343	154	493	573	1,365	859	159	54	35	6,193	310	301	222
H24 . 6	21	2,024	296	175	466	585	1,350	648	135	50	24	5,753	274	292	150
H25 . 7	22	2,325	326	210	515	623	1,516	958	177	69	49	6,768	308	326	282
H24 . 7	21	2,159	378	198	520	565	1,516	811	130	56	33	6,366	303	237	186
H25 . 8	22	2,258	322	188	499	589	1,487	922	180	64	42	6,551	298	225	209
H24 . 8	23	2,257	403	226	561	606	1,566	945	176	74	45	6,859	298	270	226
H25 . 9	19	2,141	319	171	521	557	1,391	857	136	46	36	6,175	325	194	182
H24 . 9	19	2,057	375	175	481	535	1,413	782	133	58	38	6,047	318	258	249
H25 . 10	22	2,338	363	184	567	604	1,401	875	149	45	60	6,586	299	394	294
H24 . 10	22	2,143	352	211	521	631	1,481	841	135	50	46	6,411	291	246	249
H25 . 11	20	2,246	355	169	508	605	1,286	1,010	152	65	38	6,434	322	145	357
H24 . 11	21	2,267	343	229	443	586	1,398	1,082	140	54	38	6,580	313	150	382
H25 . 12	19	2,110	351	203	496	570	1,292	1,033	130	52	46	6,283	331	31	325
H24 . 12	19	2,058	273	191	492	559	1,340	1,163	143	47	34	6,300	332	57	309
H26 . 1	21	2,161	376	187	484	607	1,256	1,073	151	44	42	6,381	304	50	269
H25 . 1	21	2,161	248	184	457	563	1,324	952	128	52	44	6,113	291	68	254
H26 . 2	19	1,895	305	191	458	509	1,180	817	147	56	47	5,605	295	268	226
H25 . 2	19	2,060	246	168	442	515	1,303	948	144	39	38	5,903	311	263	225
H26 . 3	20	2,038	296	175	499	546	1,319	1,060	162	66	42	6,203	310	31	228
H25 . 3	20	2,123	333	214	486	597	1,400	957	170	84	47	6,411	321	30	194
H25合計	246	25,959	3,989	2,178	5,955	7,020	16,364	11,445	1,878	673	558	76,019	309	2,481	3,029
H24合計	247	26,030	3,875	2,323	5,894	6,937	16,790	10,841	1,708	689	413	75,500	306	2,260	2,715
H25-H24	-1	-71	114	-145	61	83	-426	604	170	-16	145	519	3	221	314

(3) 収支決算及び資金収支

①平成25年度 決算損益計算書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日)

(単位：千円)

1. 医業収益

(1) 入院収益	1,292,356		
(2) 外来収益	844,154		
(3) その他医業収益	177,560	2,314,070	①

2. 医業費用

(1) 給与費	1,352,053		
(2) 材料費	405,071		
(3) 経費	351,750		
(4) 減価償却費	130,318		
(5) 資産減耗費	9,420		
(6) 研究研修費	8,097	2,256,709	②

医業利益 ①－② 57,361 ③

※医業収支比率 102.5%

3. 医業外収益

(1) 受取利息	48		
(2) 他会計繰入金	50,250		
(3) 県補助金	8,762		
(4) 負担金交付金	12,927		
(5) その他医業外収益	11,135	83,122	④

4. 医業外費用

(1) 支払利息	53,334		
(2) 繰延勘定償却	10,142		
(3) 雑損失	41,839	105,315	⑤

経常利益 ③＋④－⑤ 35,168 ⑥

※経常収支比率 101.5%

5. 特別利益

(2) その他特別利益	4,985	4,985	⑦
-------------	-------	-------	---

6. 特別損失

(2) 過年度損益修正損	170		
(3) その他特別損失	32,987	33,157	⑧

当年度純利益 ⑥＋⑦－⑧ 6,996 ⑨

前年度繰越欠損金年度末残高 398,716 ⑩

当年度未処理欠損金 ⑩－⑨ 391,720

②比較貸借対照表

(単位：千円)

借 方							貸 方						
科 目	平成 2 5 年度		平成 2 4 年度		比較増減		科 目	平成 2 5 年度		平成 2 4 年度		比較増減	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	比 率		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	比 率
(資産)		%		%		%	(負債)		%		%		%
1 固定資産	4,579,967	85.3	4,624,998	84.7	-45,031	-1.0	1 固定負債	0	0.0	0	0.0	0	
(1)有形固定資産	4,579,741	99.8	4,624,772	99.8	-45,031	-1.0	2 流動負債	123,971	100.0	196,724	100.0	-72,753	-37.0
イ 土地	457,521	10.0	457,521	9.9	0	0.0	(1)未払金	123,971	100.0	196,724	100.0	-72,753	-37.0
ロ 建物	3,527,903	77.0	3,617,605	78.2	-89,702	-2.5							
ハ 構築物	25,285	0.6	19,099	0.4	6,186	32.4	負債合計	123,971	100.0	196,724	100.0	-72,753	-37.0
二 工具器具及び備品	559,792	12.2	521,251	11.3	38,541	7.4	(資本)	円	%	円	%	円	%
ホ 車両及び運搬具	9,240	0.3	9,296	0.3	-56	-0.6	1 資本金	3,721,679	71.0	3,815,809	72.5	-94,130	-2.5
ヘ 建設仮勘定	0	0.0	0	0.0	0	#DIV/0!	(1)自己資本金	1,225,976	32.9	1,182,606	31.0	43,370	3.7
(2)無形固定資産	122	0.1	122	0.1	0	0.0	(2)借入資本金	2,495,703	67.1	2,633,203	69.0	-137,500	-5.2
イ 電話加入権	122	100.0	122	100.0	0	0.0	2 剰余金	1,914,233	36.5	1,844,362	35.1	69,871	3.8
(3)投 資	104	0.1	104	0.1	0	0.0	(1)資本剰余金	1,914,233	100.0	1,844,362	100.0	69,871	3.8
イ 投資有価証券	104	0.1	104	0.1	0	0.0	イ 国庫補助金	989,312	51.7	919,441	49.9	69,871	7.6
2 流動資産	675,933	12.6	710,775	13.0	-34,842	-4.9	ロ 再評価積立金	1,271	0.1	1,271	0.1	0	0.0
(1)現金預金	163,335	24.2	283,854	39.9	-120,519	-42.5	ハ 寄付金	8,500	0.4	8,500	0.5	0	0.0
(2)未収金	472,687	69.9	383,012	53.9	89,675	23.4	二 その他資本剰余金	915,150	47.8	915,150	49.6	0	0.0
(3)貯蔵品	39,911	5.9	43,894	6.2	-3,983	-9.1	3 欠損金	-391,720	-7.5	-398,716	-7.6	6,996	-1.8
(4)前払金	0	0.0	15	0.0	-15	-100.0	イ 当年度未処理欠損金	-391,720	100.0	-398,716	100.0	6,996	-1.8
3 繰延勘定	112,263	2.1	122,406	2.2	-10,143	-8.3							
(1)控除対象外消費税額	112,263	100.0	122,406	100.0	-10,143	-8.3	資本合計	5,244,192	100.0	5,261,455	100.0	-17,263	-0.3
資産合計	5,368,163	100.0	5,458,179	99.9	-90,016		負債資本合計	5,368,163		5,458,179		-90,016	

③平成25年度 病院事業決算（収益費用明細書、消費税抜き）

（収 入）

款	項	目	節
1. 病院事業収益			
	1. 医業収益		
		1. 入院収益	
			1. 入院収益
		2. 外来収益	
			1. 外来収益
		3. その他医業収益	
			1. 医業相談収益
			2. その他医業収益
	2. 医業外収益		
		1. 受取利息	
			1. 預金利息
		2. 他会計繰入金	
			1. 他会計繰入金
		3. 県補助金	
			1. 県補助金
		4. 分担金交付金	
			1. 分担金交付金
		5. その他医業外収益	
			1. その他医業外収益
	3. 特別利益		
		1. 過年度損益修正益	
			1. 過年度損益修正益
		2. その他特別利益	
			1. その他特別利益

（支 出）

款	項	目	節
1. 病院事業費用			
	1. 医業費用		
		1. 給与費	
			1. 給料
			2. 手当
			3. 賃金
			4. 法定福利費
		2. 材料費	
			1. 薬品費
			2. 診療材料費
			3. 給食材料費
			4. 医療消耗品費
	3. 経費		
			1. 福利厚生

(単位:千円)

25年度決算	24年度決算	差 引	伸 率	説 明
2,402,177	2,265,275	136,902	6.0	
2,314,070	2,172,134	141,936	6.5	
1,292,356	1,131,200	161,156	14.2	
1,292,356	1,131,200	161,156	14.2	入院1人1日あたり 37,193円
844,154	822,603	21,551	2.6	
844,154	822,603	21,551	2.6	外来1人1日あたり 11,105円
177,560	218,331	△ 40,771	△ 18.7	
43,190	38,643	4,547	11.8	健診事業
134,370	179,688	△ 45,318	△ 25.2	室料・文書料、へき地医師派遣、救急繰入金106,380千円
83,122	87,496	△ 4,374	△ 5.0	
48	103	△ 55	△ 53.4	
48	103	△ 55	△ 53.4	預金利子
50,250	49,148	1,102	2.2	
50,250	49,148	1,102	2.2	償還金利息等
8,762	5,675	3,087	54.4	国保保健、産科支援、へき地医療支援、応援診療支援、看護師教育環境整備、認定看護師育成支援等
8,762	5,675	3,087	54.4	
12,927	13,890	△ 963	△ 6.9	
12,927	13,890	△ 963	△ 6.9	小児及び救急輪番負担金
11,135	18,680	△ 7,545	△ 40.4	
11,135	18,680	△ 7,545	△ 40.4	在庫処理・光熱水費・各種手数料等
4,985	5,645	△ 660	△ 11.7	
0	0	0		
0	0	0		
4,985	5,645	△ 660	△ 11.7	
4,985	5,645	△ 660	△ 11.7	退職組合負担金確定(精算)

(単位:千円)

25年度決算	24年度決算	差 引	伸 率	説 明
2,395,181	2,249,155	146,026	6.5	
2,256,709	2,124,909	131,800	6.2	
1,352,053	1,329,331	22,722	1.7	
497,565	481,082	16,483	3.4	
397,888	387,275	10,613	2.7	
168,892	176,958	△ 8,066	△ 4.6	
287,708	284,016	3,692	1.3	
405,071	342,608	62,463	18.2	
242,840	195,049	47,791	24.5	
145,719	133,122	12,597	9.5	
15,523	12,769	2,754	21.6	
989	1,668	△ 679	△ 40.7	
351,750	300,388	51,362	17.1	
267	275	△ 8	△ 2.9	ドック助成金

款	項	目	節	
			2. 報償費	
			3. 旅費交通費	
			4. 職員被服費	
			5. 消耗品費	
			6. 消耗備品費	
			7. 光熱水費	
			8. 燃料費	
			9. 食料費	
			10. 印刷製本費	
			11. 修繕費	
			12. 保険料	
			13. 賃借料	
			14. 通信運搬費	
			15. 広告料	
			16. 手数料	
			17. 委託料	
			18. 諸会費	
			19. 雑費	
			20. 補償費	
			21. 交際費	
			4. 減価償却費	
			1. 建物	
			2. 構築物	
			3. 器械備品	
			4. 車両	
		5. 資産減耗費		
			1. 資産減耗費	
		6. 研究研修費		
			1. 旅費	
			2. 研究雑費	
	2. 医業外費用			
		1. 支払利息		
			1. 企業債利息	
			2. 一時借入金利息	
			2. 繰延勘定償却	
			1. 繰延勘定償却	
		3. 雑支出		
		1. 雑支出		
	3. 特別損失			
		1. 特別損失		
			2. 過年度損益修正損	
			3. その他特別損失	
差 引 純 利 益				

25年度決算	24年度決算	差 引	伸 率	説 明
739	539	200	37.1	講師料、経営委員報酬
901	952	△ 51	△ 5.4	普通旅費
425	419	6	1.4	白衣等
10,075	7,887	2,188	27.7	事務・清掃用品等
11,085	4,657	6,428	138.0	一般備品、看護師教育環境整備事業等
47,734	40,484	7,250	17.9	電気・水道
11,338	9,452	1,886	20.0	重油・ガス・ガソリン
1,204	1,006	198	19.7	
902	547	355	64.9	封筒、伝票等
34,043	26,130	7,913	30.3	医療機器・施設修繕等
19,972	19,106	866	4.5	産科医療保障制度
77,388	73,375	4,013	5.5	寝具・熱供給システム・医療機器等
3,848	3,728	120	3.2	電話・郵便料
479	479	0	0.0	看板・新聞等
224	145	79	54.5	浄化槽法定検査料
125,630	105,627	20,003	18.9	給食・検査・清掃・医療機器保守等
3,239	3,389	△ 150	△ 4.4	国保運営協議会、医師会等
888	775	113	14.6	収入証紙、入院患者他院受診料等
0	0	0		
1,369	1,416	△ 47	△ 3.3	
130,318	119,797	10,521	8.8	
73,667	57,258	16,409	28.7	
1,104	1,043	61	5.8	
55,491	61,440	△ 5,949	△ 9.7	
56	56	0	0.0	
9,420	25,979	△ 16,559	△ 63.7	
9,420	25,979	△ 16,559	△ 63.7	医療機器除却
8,097	6,806	1,291	19.0	
3,234	3,469	△ 235	△ 6.8	学会、研修旅費
4,863	3,337	1,526	45.7	各種研修会受講費等
105,315	93,551	11,764	12.6	
53,334	55,467	△ 2,133	△ 3.8	
53,334	55,467	△ 2,133	△ 3.8	
0	0	0		
10,142	7,491	2,651	35.4	
10,142	7,491	2,651	35.4	過年度控除対象外消費税償却
41,839	30,593	11,246	36.8	
41,839	30,593	11,246	36.8	控除対象外消費税
33,157	30,695	2,462	8.0	
33,157	30,695	2,462	8.0	
170	18,697	△ 18,527	△ 99.1	不能欠損金
32,987	11,998	20,989	174.9	看護師住宅除却、取り壊し工事
6,996	16,120	△ 9,124	△ 56.6	

平成 2 5 年度 病院事業決算（資本的收入費用明細書 消費税抜き）

（収 入）

款	項	目	節
1. 資本的收入			
	1. 企業債		
		1. 企業債	
			1. 企業債
	2. 出資金		
		1. 出資金	
			1. 出資金
	3. 他会計繰入金		
		1. 他会計繰入金	
			1. 他会計繰入金
	4. 補助金		
		1. 補助金	
			1. 補助金

（支 出）

款	項	目	節
1. 資本の支出			
	1. 建設改良費		
		1. 工事費	
			1. 工事費
		2. 機械備品購入費	
			1. 機械備品購入費
	2. 企業債償還金		
		1. 企業債	
			1. 企業債

(単位:千円)

25年度決算	24年度決算	差 引	伸 率	説 明
123,041	696,775	△ 573,734	△ 82.3	
9,800	216,900	△ 207,100	△ 95.5	
9,800	216,900	△ 207,100	△ 95.5	
9,800	216,900	△ 207,100	△ 95.5	
0	0	0		
0	0	0		
0	0	0		
43,370	74,423	△ 31,053	△ 41.7	
43,370	74,423	△ 31,053	△ 41.7	
43,370	74,423	△ 31,053	△ 41.7	
69,871	405,452	△ 335,581	△ 82.8	
69,871	405,452	△ 335,581	△ 82.8	国保調整交付金 2,625千円、情報共有ネットワーク整備事業59,086千円、へき地医療拠点病院機能強化事業10,000千円、自家発電機補助金返還分▲1,840千円
69,871	405,452	△ 335,581	△ 82.8	

(単位:千円)

25年度決算	24年度決算	差 引	伸 率	説 明
274,993	1,235,316	△ 960,323	△ 77.7	
127,693	1,097,567	△ 969,874	△ 88.4	
24,242	1,060,080	△ 1,035,838	△ 97.7	看護師住宅解体工事、南側駐車場舗装工事、地域連携室改装工事等
24,242	1,060,080	△ 1,035,838	△ 97.7	
103,451	37,487	65,964	176.0	
103,451	37,487	65,964	176.0	透析監視装置、地域連携システム等
147,300	137,749	9,551	6.9	
147,300	137,749	9,551	6.9	
147,300	137,749	9,551	6.9	企業債償還元金

④平成25年度キャッシュフロー計算書

1. 業務活動によるキャッシュフロー計算書

区分	H24年度決算	H25. 4	H25. 5	H25. 6	H25. 7	H25. 8
入院収入（診療報酬分）	1,066,645	84,812	87,404	96,906	108,500	92,491
入院収入（窓口分）	88,588	7,414	8,380	8,937	8,416	8,112
外来収入（診療報酬分）	660,217	53,480	57,200	58,610	57,687	54,178
外来収入（窓口分）	131,117	8,472	11,153	11,374	12,171	12,811
他会計負担金（3条・医業）	156,429			24,900		
その他医業収入	24,766	3,373	1,848	2,554	2,156	2,566
医業相談収入（健診）	40,969	4,323	4,575	3,808	5,274	4,113
給与費支出	△ 1,330,561	△ 83,039	△ 83,094	△ 189,711	△ 133,196	△ 81,748
材料費支出	△ 348,567	△ 30,064	△ 31,847	△ 28,616	△ 41,703	△ 33,047
経費支出	△ 309,980	△ 41,747	△ 34,810	△ 31,730	△ 27,331	△ 30,183
研究研修費支出	△ 7,104	△ 1,162	△ 761	△ 802	△ 456	△ 611
小計	172,519	5,862	20,048	△ 43,770	△ 8,482	28,682
受取利息及び配当金収入	103					26
患者外給食収入						
他会計負担金（3条）	49,148			10,600		
補助金	20,752	10,357	9,199			
その他医業外収入	7,602	153	136	125	675	17
支払利息支出	△ 55,447	△ 436				△ 77
消費税及び地方消費税支出	△ 2,676					
その他医業外費用支出						
小計	19,482	10,074	9,335	10,725	675	△ 34
特別利益収入	3,584	5,645				
特別損失支出						
小計	3,584	5,645				
過年度未収金収入	1,996	2,036	216	1	1	1
過年度未払金支出						
小計	1,996	2,036	216	1	1	1
合計	197,581	23,617	29,599	△ 33,044	△ 7,806	28,649

2. 投資活動によるキャッシュフロー

有形固定資産の取得による支出	△ 995,971	△ 88,761	△ 2,326	△ 11,228	△ 458	△ 18,516
有形固定資産の補助金収入	416,677		400			
合計	△ 579,294	△ 88,761	△ 1,926	△ 11,228	△ 458	△ 18,516

3. 財務活動によるキャッシュフロー

短期借入（一時借入金）による収入	400,000					
短期借入（一時借入金）による支出	△ 400,000					
長期借入（企業債）による収入	216,900					
長期借入（企業債）の返済による支出	△ 137,732	△ 775				△ 3,846
他会計補助金（4条分）						
他会計負担金（4条分）	74,423			4,500		
合計	153,591	△ 775		4,500		△ 3,846

4. 現金等の増加（減少）額（1+2+3）	△ 228,122	△ 65,919	27,673	△ 39,772	△ 8,264	6,287
5. 現金等の期首残高	511,976	283,854	217,935	245,608	205,836	197,572
6 現金等の期末残高（4+5）	283,854	217,935	245,608	205,836	197,572	203,859

(単位：千円)

H25. 9	H25. 10	H25. 11	H25. 12	H26. 1	H26. 2	H26. 3	合計	前年度差
105, 674	111, 081	102, 685	101, 903	99, 572	102, 468	98, 945	1, 192, 441	125, 796
8, 670	9, 370	6, 802	8, 503	8, 167	7, 408	9, 097	99, 276	10, 688
55, 554	54, 763	54, 839	58, 889	57, 945	56, 553	60, 566	680, 264	20, 047
11, 314	12, 394	12, 630	12, 430	12, 364	12, 279	11, 630	141, 022	9, 905
24, 900			24, 900	24, 900		6, 780	106, 380	△ 50, 049
4, 137	2, 574	2, 016	2, 865	2, 519	2, 115	2, 519	31, 242	6, 476
4, 313	4, 015	4, 376	2, 558	2, 178	1, 500	3, 203	44, 236	3, 267
△ 114, 897	△ 82, 748	△ 81, 078	△ 193, 015	△ 134, 109	△ 85, 194	△ 88, 909	△ 1, 350, 738	△ 20, 177
△ 31, 780	△ 32, 110	△ 36, 392	△ 30, 428	△ 39, 903	△ 34, 663	△ 42, 084	△ 412, 637	△ 64, 070
△ 26, 066	△ 31, 765	△ 25, 886	△ 30, 968	△ 23, 584	△ 32, 753	△ 34, 002	△ 370, 825	△ 60, 845
△ 356	△ 643	△ 686	△ 880	△ 313	△ 603	△ 651	△ 7, 924	△ 820
41, 463	46, 931	39, 306	△ 43, 243	9, 736	29, 110	27, 094	152, 737	△ 19, 782
					21		47	△ 56
10, 600			10, 600	10, 600		7, 850	50, 250	1, 102
					3, 219	70	22, 845	2, 093
1, 862	214	7	2, 813	101	65	2, 127	8, 295	693
△ 26, 901			△ 639		△ 69	△ 26, 287	△ 53, 770	1, 677
							△ 639	2, 037
△ 14, 439	214	7	12, 774	10, 701	3, 236	△ 16, 240	27, 028	7, 546
							5, 645	2, 061
							5, 645	2, 061
1	1	1	1	1	4	1	2, 265	269
1	1	1	1	1	4	1	2, 265	269
27, 025	47, 146	39, 314	△ 30, 468	20, 438	32, 350	10, 855	187, 675	△ 9, 906
△ 4, 418		△ 9, 183	△ 243		△ 59, 527	△ 17, 189	△ 211, 849	784, 122
						△ 1, 840	△ 1, 440	△ 418, 117
△ 4, 418		△ 9, 183	△ 243		△ 59, 527	△ 19, 029	△ 213, 289	366, 005
								△ 400, 000
								400, 000
						9, 800	9, 800	△ 207, 100
△ 69, 393					△ 3, 846	△ 70, 215	△ 148, 075	△ 10, 343
4, 500			4, 500	4, 500		25, 370	43, 370	△ 31, 053
△ 64, 893			4, 500	4, 500	△ 3, 846	△ 35, 045	△ 94, 905	△ 248, 496
△ 42, 286	47, 146	30, 131	△ 26, 211	24, 938	△ 31, 023	△ 43, 219	△ 120, 519	107, 603
203, 859	161, 573	208, 719	238, 850	212, 639	237, 577	206, 554	283, 854	△ 228, 122
161, 573	208, 719	238, 850	212, 639	237, 577	206, 554	163, 335	163, 335	△ 120, 519

2. 平成26年度 病院事業計画

(1) 現状と課題

公営企業を取り巻く環境の変化として、国の地方分権改革推進計画に基づき、地方公営企業法の一部が改正されたことを受けて、総務省による地方公営企業会計制度の見直しが進められることになりました。この制度見直しの基本的な考え方としては、現行の民間の企業会計原則をもとに、「資本制度の見直し」、「会計基準の見直し」を柱とした新たな会計制度に改め、平成26年度予算及び決算から適用となりました。

平成26年度の事業計画策定にむけ、昨年より新制度への移行準備の作業に取り掛かりましたが、従前の会計運用からは大きく変更されるものであり、この新制度への移行に伴い、当年度事業計画においては、大幅な財務諸表の変更となりました。

そして、予算編成にあたっては、旧制度からの移行調整に要する特別損失が計上されたことから、事業費用予算は、大きく膨らむことになりました。さらに、本年4月の消費増税施行に伴い、費用が増額となるなど、当年度事業予算執行においては、費用支出の抑制が最重要課題となっています。

一方、平成26年度診療報酬の改定が示されましたが、国の社会保障費の抑制方針を受けたものとなり、当院の現状体制で即応できる効果的な改正項目は限られることから、本年を目途に収益確保に繋げる医療体制の構築を目指して取り組んでいるところです。

また、将来の人口動態を見据えた病院機能分化の推進が求められている中、県西部の将来展望を考察し、当院が公立病院として果たすべき役割と施策を検討していくことが今後の課題となっています。

このように、病院経営を取り巻く環境は、厳しいものがありますが、当院に課せられた地域医療の推進のため、次に掲げる課題への対応に取り組んでいきたいと考えています。

(2) 本年度の主な取組み

前述した、大変厳しい現状と課題への対応と、当院の未来も見据えた運営を推進していくため、本年度の重点施策として以下の項目に取り組んでまいります。

①地域包括ケアシステムへの取組み

厚労省が推進する地域包括ケアシステムについては、地域を支える公的医療機関が介護・医療ニーズを併せ持つ高齢者を支えるため、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション等の在宅医療にむけて地元医師会、訪問看護ステーション及び介護施設等との医療連携の構築が必要となります。

当院としては、高度急性期病院及び他の医療機関・施設等からの紹介患者を受け入れる体制を整備することで地域の包括ケアシステムへの連携を図っていきたいと考えています。なお、本年度の診療報酬改定を受けて、将来に向けて取り組むべき分野と考えます。

- 1)急性期病床からの患者の受け入れ
- 2)在宅等にいる患者の緊急時の受け入れ
- 3)在宅への復帰支援

以上三つの機能を備える地域包括ケア病床等を確立することを目標とする。

②医師確保対策

- 1)引き続き徳島大学からの医師派遣の継続を要請。
- 2)引き続き医師紹介サイトへの求人登録を継続。
- 3)JICA(独立行政法人国際協力機構)草の根技術協力事業の申請。事業認定後は、当院に「国際総合診療医研修コース」を開設し、ザンビアでの国際保健活動に対し柔軟に対応する。(TICO・さくら診療所と連携)
- 4)四国・美馬家庭医療後期研修プログラム・徳島県 病院/診療所連携 家庭医・総合医養成プログラム『藍Projects』(日本プライマリ・ケア学会 認定申請中)・にし阿波3病院連携医師研修プログラム・AWAすだちプログラム・自治医科大学地域医療後期研修プログラムなどの医師研修プログラムの充実。(木屋平診療所・県立中央病院・県西部の3病院・徳島大学病院・自治医大病院と連携。)
- 5)医師官舎のリフォームや医局の環境整備、病院ホームページの更新、そして、徳島大学医学生の研修も積極的に受け入れ、当院の良さを幅広く、知ってもらえる機会を増やしていくことも、将来の医師確保につながるものであると考え、今後も、積極的に取り組んでいきます。

③薬品費の削減について(後発医薬品導入の推進)

当院はDPC病院であるため、病名と診療内容・入院日数によって入院に係る点数は固定されています。その中でかかる経費を低く抑えられればその分、収益が増えることになります。

また、今年度より後発医薬品の使用実績がDPCの係数に加算されることになりました。使用割合が高いほど係数も高いものとなり、入院点数も増加します。

このことにより、厚労省の目標としている後発品の使用割合60%を目安に、薬剤費の削減に取り組んでいきます。

④材料費の抑制

医業費用において、大きな割合を占める診療材料費の抑制に努めるため、職員全体で強いコスト意識を持ち、新規採用・購入・使用・在庫管理を徹底します。

◇材料費抑制計画

1. 診療材料の一斉見積

一斉見積を行い、購入業者の適切な選定を行い、段階的に材料費の削減に取り組めます。

2. 同効同等品の一元化

同効同等品の洗い出しを進め、一元化を目指します。同効同等品の一元化を行うことで、卸業者一社への集約化を目指し、発注量を増やす事による一材料あたりの単価の削減を図ります。

3. 在庫管理システム:材料マスターの整備

購入実績が著しく低下、または数年に渡り購入実績の無い材料については、削除の検討・実施を行い、誤発注の防止を図ります。診療材料については、返品処理が効かない商品が多数を占めるため、不良在庫の抑制に努めます。

⑤防災対策

南海トラフ地震が想定される中、災害対策への取り組みは災害拠点病院である当院の使命であると考え、昨年度には、病院職員、関係機関が一同に会し、図上訓練を実施し、様々な課題・問題点等を洗い出すことにも取り組みました。

また、大規模災害時における情報伝達機能の強化を図るため、デジタル簡易無線を整備し、通信訓練を実施した結果、「東は麻植協同病院、西は県立三好病院」まで通信可能となりました。つるぎ町でも特に整備を進めている中、県西部圏域の拠点となる西部総合県民局、美馬保健所も含めた通信ネットワークを張り巡らすことが可能となりました。

本年度は、訓練で出てきた課題等の対応と、この無線設備も十分活用できるよう、災害マニュアルの見直しと本部機能の強化を中心とした訓練等に取り組むとともに、災害時の専門的な医療チームであるDMAT隊員の増員も推進して行きます。

(3) 平成26年度病院事業会計予算実施計画書(税込)

収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1. 病院事業収益			2,498,333	
	1. 医業収益		2,374,598	
		1. 入院収益	1,330,874	
		2. 外来収益	840,434	
		3. その他医業収益	203,290	
	2. 医業外収益		123,389	
		1. 受取利息配当金	150	
		2. 他会計繰入金	48,837	
		3. 県補助金	4,920	
		4. 負担金交付金	13,890	
		5. その他医業外収益	4,500	
		6. 長期前受金戻入	51,092	
	3. 特別利益		346	
		3. その他特別利益	346	

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1. 病院事業費用			2,498,333	
	1. 医業費用		2,325,066	
		1. 給与費	1,423,000	
		2. 材料費	385,864	
		3. 経費	331,449	
		4. 減価償却費	176,953	
		5. 資産減耗費	1,000	
		6. 研究研修費	6,800	
	2. 医業外費用		66,238	
		1. 支払利息	52,895	
		2. 消費税	3,200	
		3. 長期前払消費税償却	10,143	

款	項	目	予 定 額	備 考
	3. 特別損失		106,529	
		2. その他特別損失	106,529	過年度分引当金繰入額
	4. 予備費		500	
		1. 予備費	500	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1. 資本的収入			48,283	
	1. 企業債		32,100	
		1. 企業債	32,100	
	3. 他会計繰入金		16,183	
		1. 他会計繰入金	16,183	

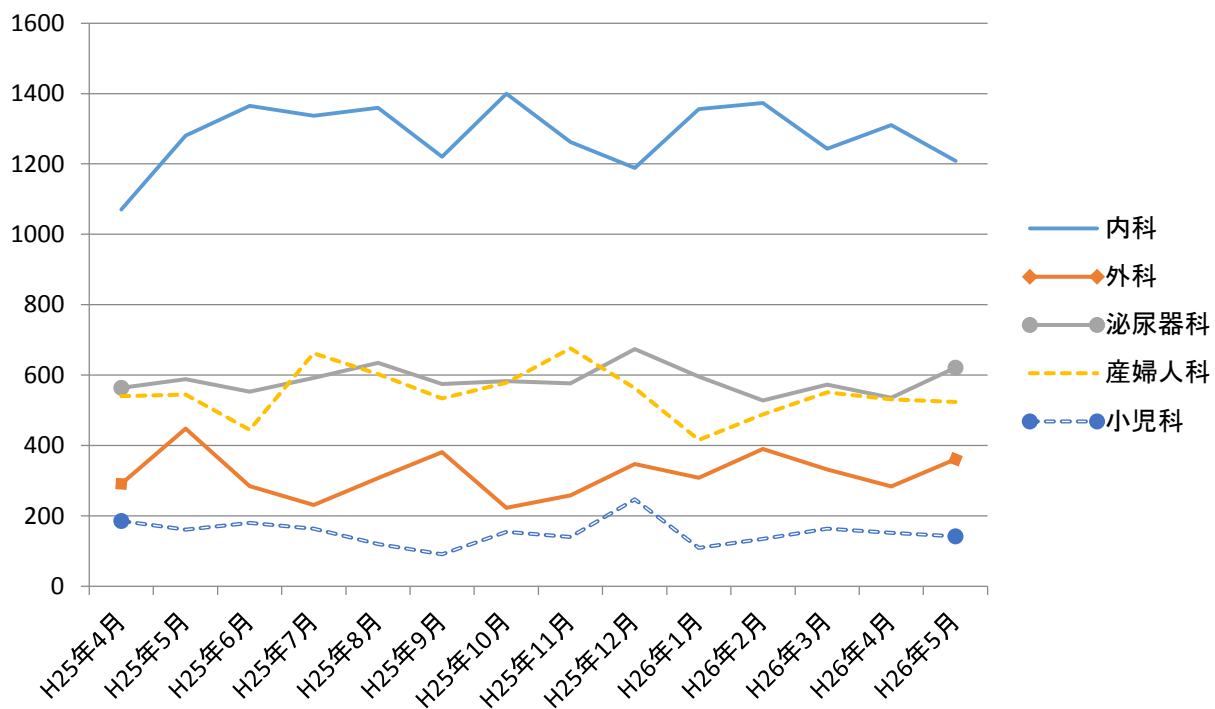
支 出

(単位：千円)

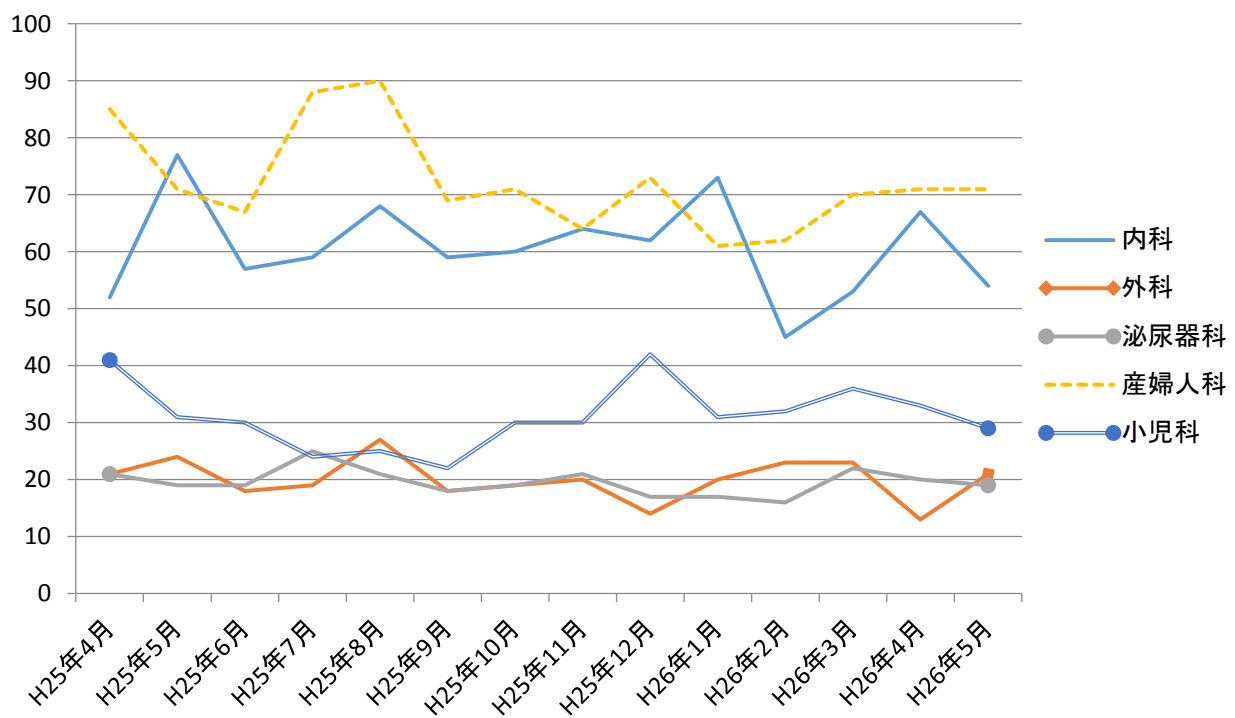
款	項	目	予 定 額	備 考
1. 資本的支出			206,531	
	1. 建設改良費		59,183	
		1. 工事費	5,000	
		2. 機械器具購入費	32,154	
		4. リース債務支払額	22,029	
	2. 企業債償還金		147,348	
		1. 企業債償還金	147,348	

(4) 患者数の分析について

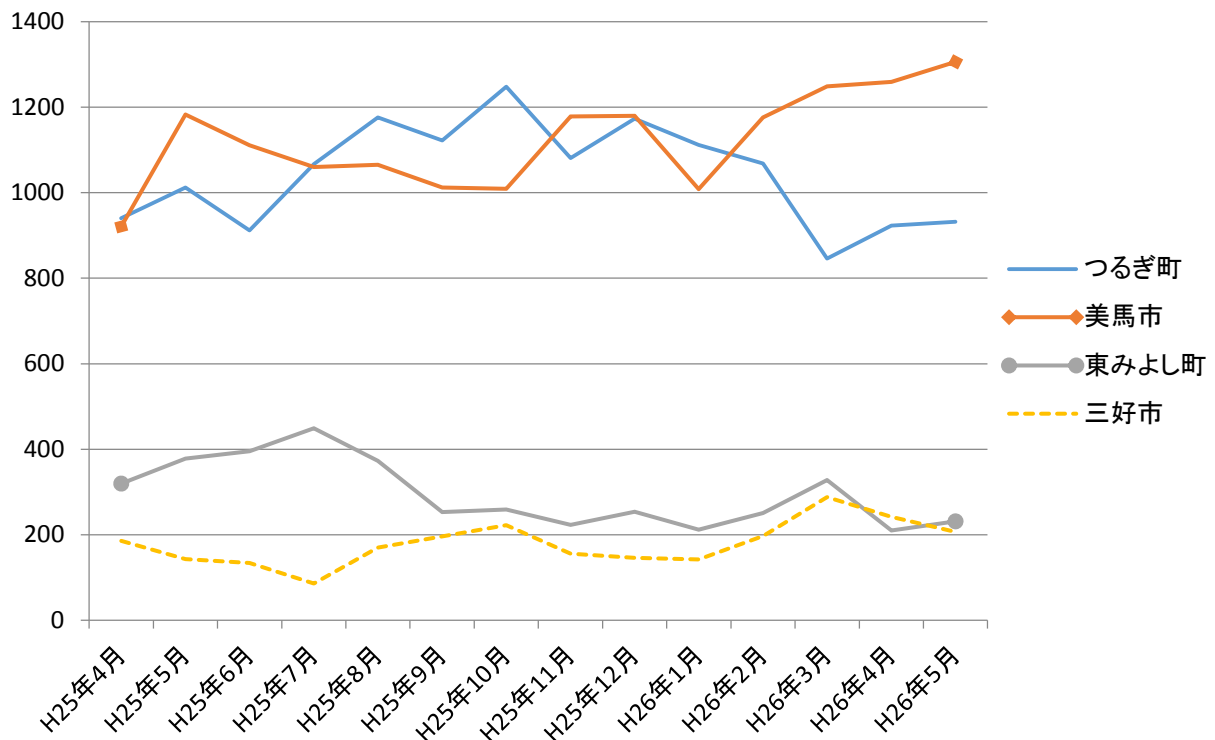
入院(在院)患者数の推移(科別)



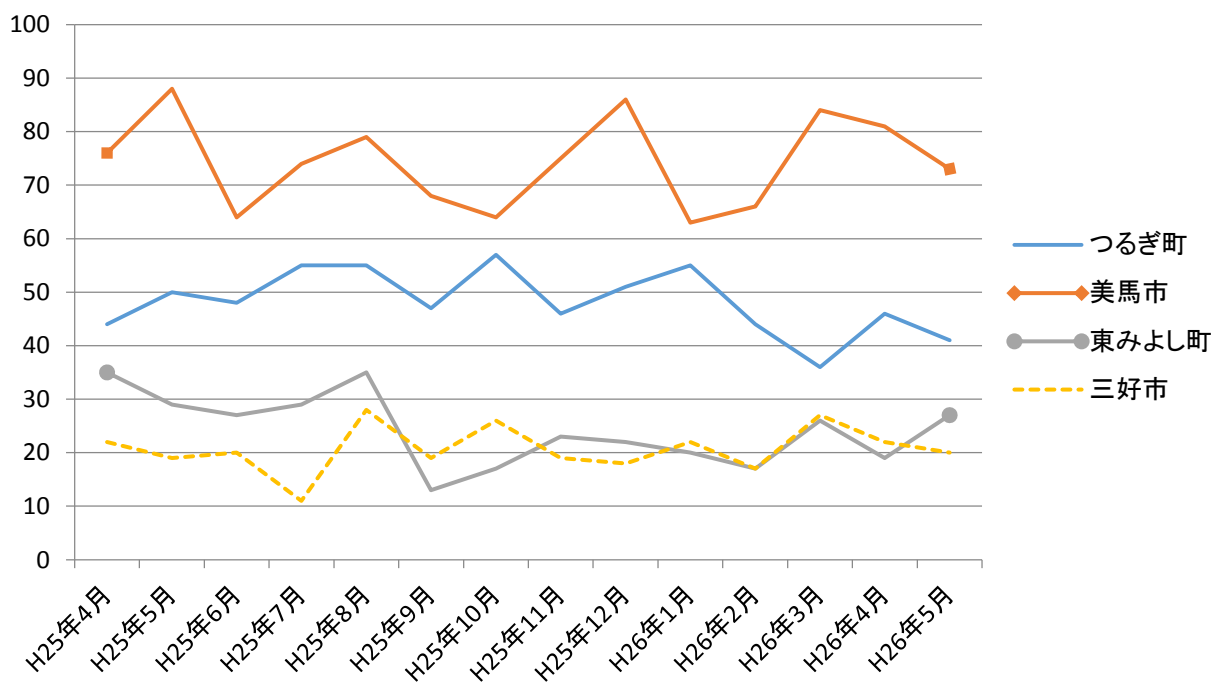
新たに入院した患者数の推移(科別)



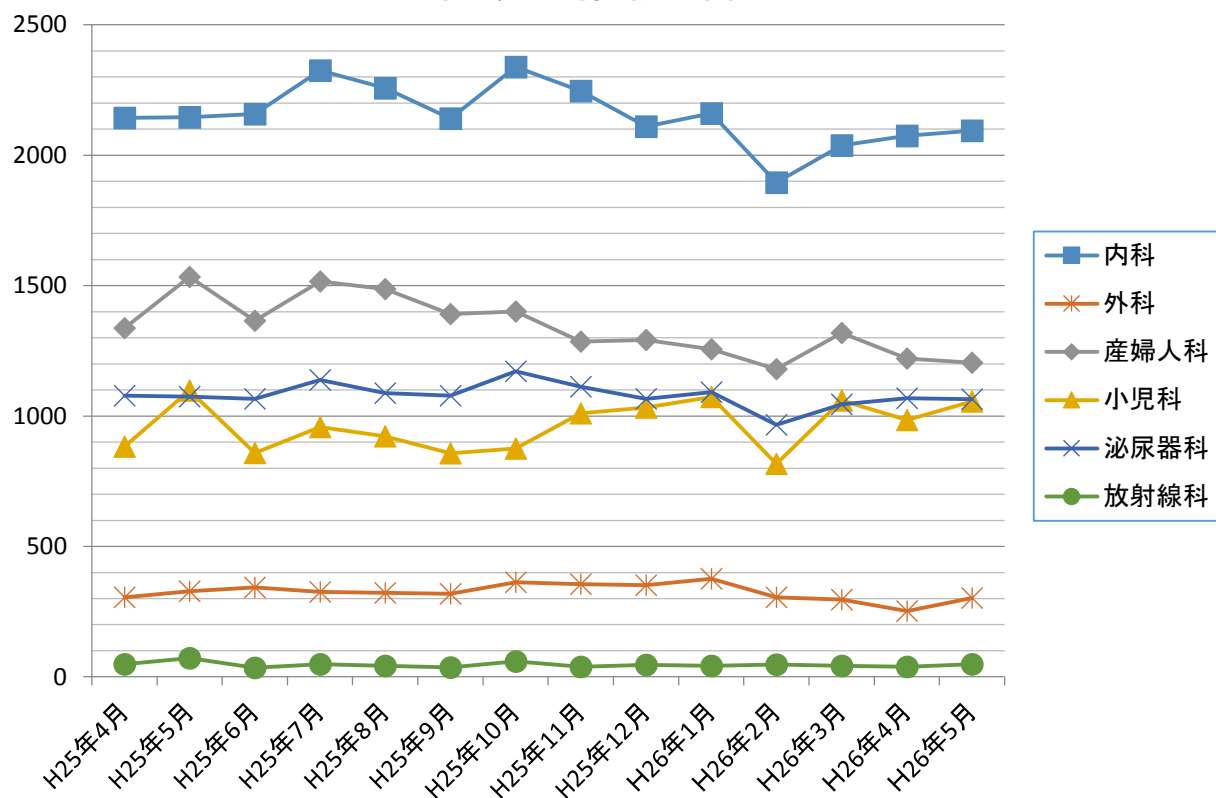
入院(在院)患者数の推移(地域別)



新たに入院した患者数の推移(地域別)

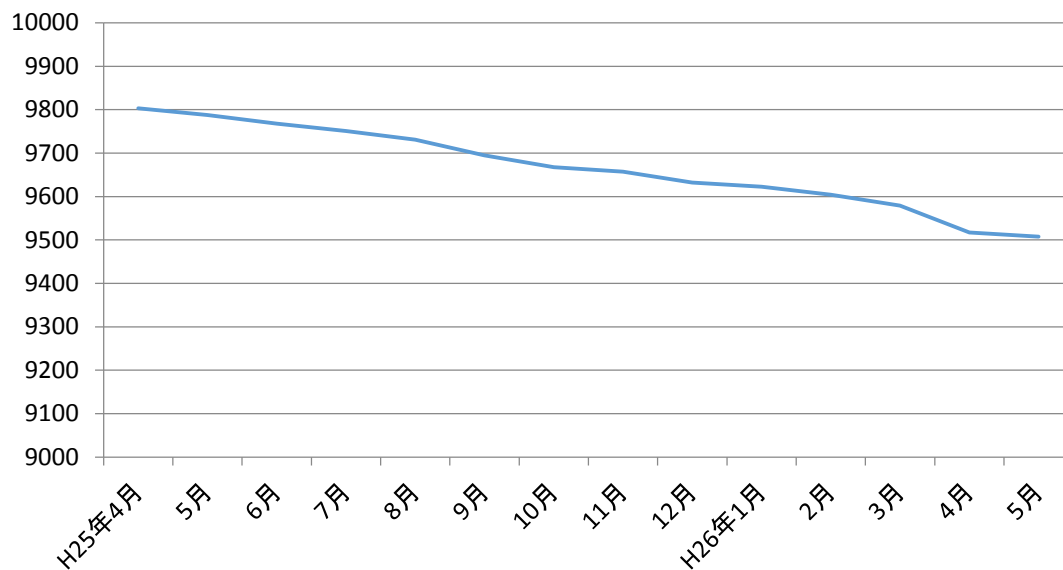


外来患者数の推移(科別)

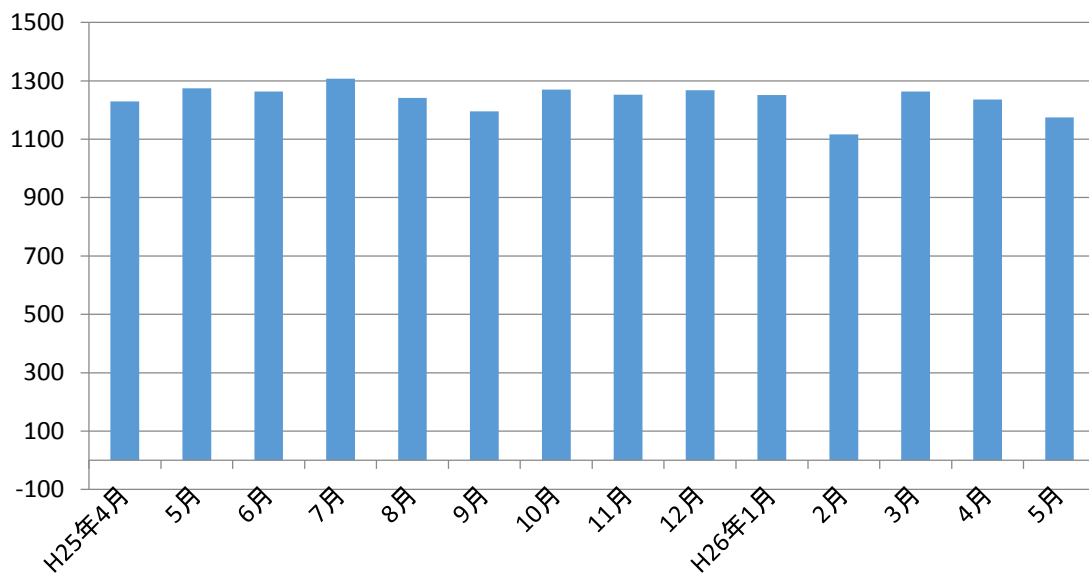


つるぎ町(高齢者率41.8%)

推計人口(徳島県H26.4.1発表)

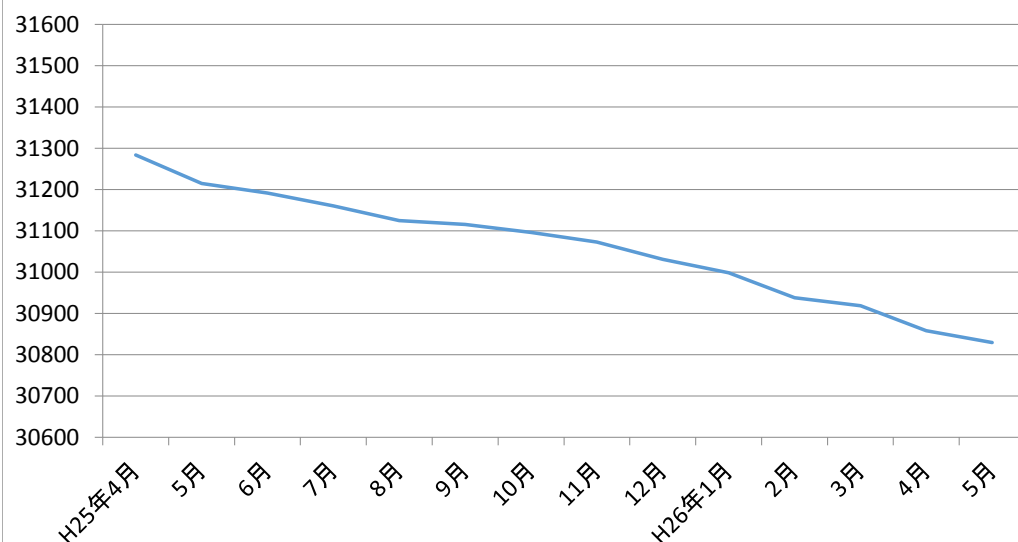


外来患者実人数

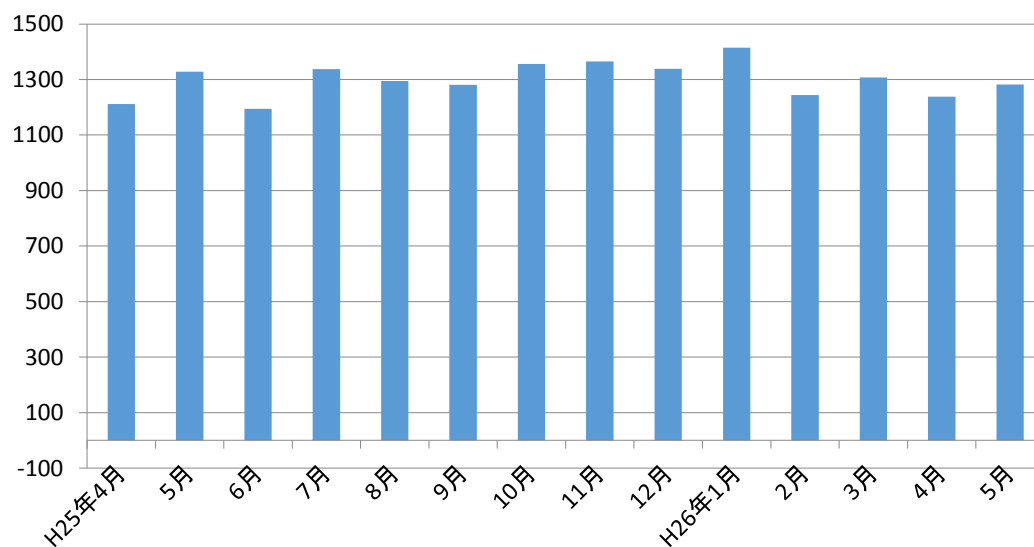


美馬市(高齢者率34.3%)

推計人口(徳島県H26.4.1発表)

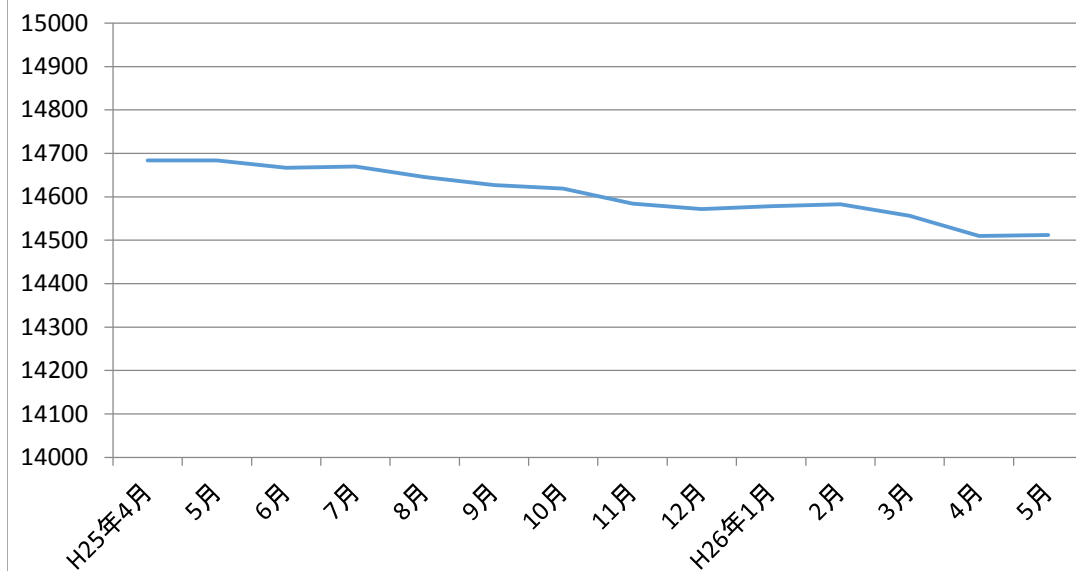


外来患者実人数

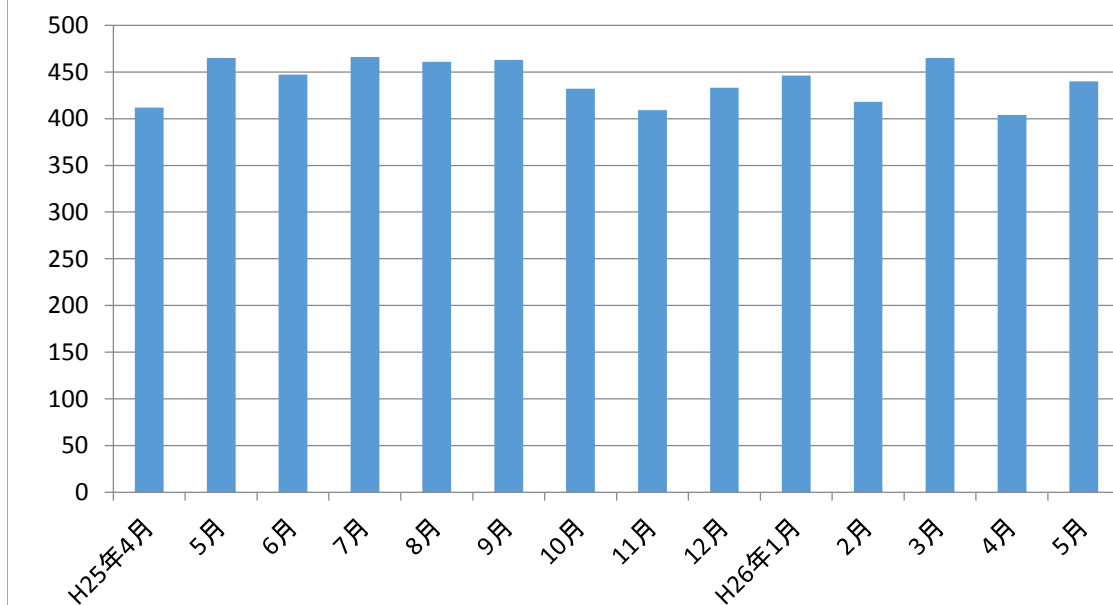


東みよし町(高齢者率32.0%)

推計人口(徳島県H26.4.1発表)

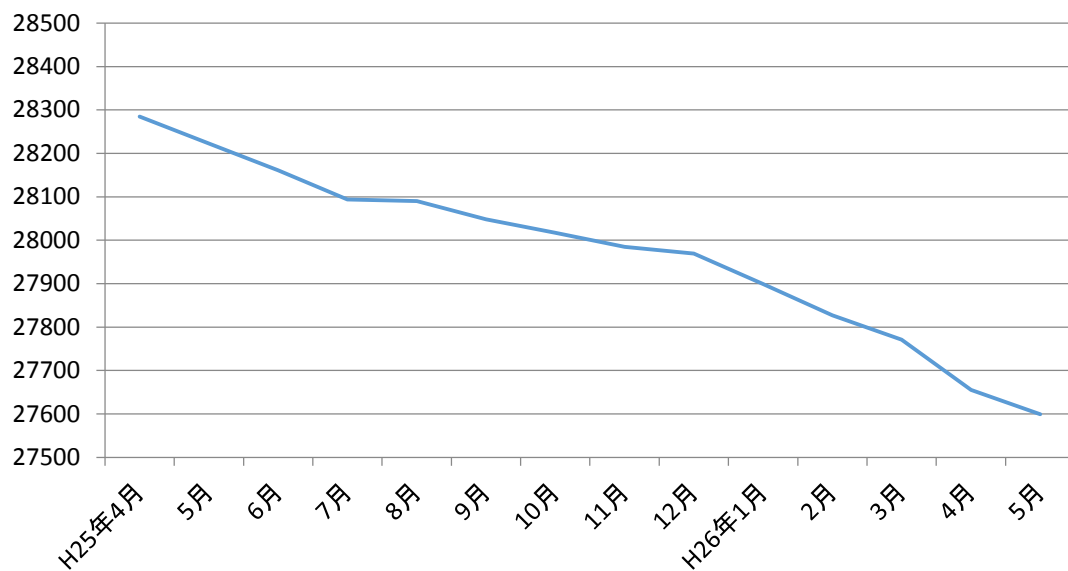


外来患者実人数

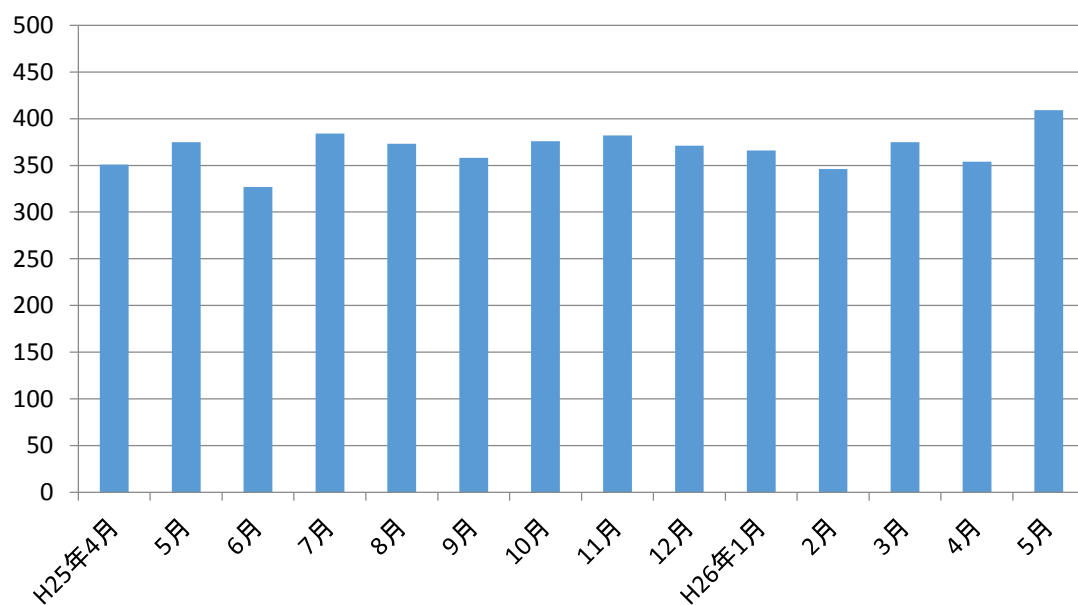


三好市(高齢者率40.3%)

推計人口(徳島県H26.4.1発表)



外来患者実人数



3. 病院改革プランの検証

(1) 改革プランの概要及び実施状況

団体コード	364681
施設コード	001

団 体 名		つるぎ町立半田病院										
プ ラ ン の 名 称		つるぎ町立半田病院 中期経営計画【公立病院改革プラン】										
策 定 日		平成		21 年		3 月		10 日				
(改定があった場合は、改定後の策定日)		平成		年		月		日				
対 象 期 間		平成		21 年度		～		平成		25 年度		
(改定があった場合は、改定後の期間)		平成		年度		～		平成		年度		
病院 の 現 状	病 院 名	つるぎ町立半田病院										
	所 在 地	徳島県美馬郡つるぎ町字中藪234番地1										
	病 床 数	許可病床	120	床	(うち一般120床)							
		稼働病床	120	床	(うち一般120床)							
		乖離理由										
現在の経営形態	公営企業法全部適用											
診療科目	内科、消化器内科、外科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、小児科、放射線科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科、眼科											
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		①西部Ⅰ医療圏の地域医療を担う中核病院として、救急医療及び病病・病診連携に積極的に取り組む中、地域住民が安心できる医療体制を構築する。 ②「国保直診」の使命である「地域包括医療・ケア」の拠点として活動する。 ③当院への産科集約を受け、診療体制及び医療設備の充実を図るほか、小児科の機能整備に取り組む「安心できる」小児・周産期医療の提供に努める。										
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		○救急医療に要する経費 ○へき地医療に要する経費 ○災害拠点病院として設備に要する経費 ○病院の建設改良に要する経費の1/2(起債分を除く) ○病院事業債元利償還金のうち、平成14以前分の元利償還金の2/3、H15年以降の元利償還金については1/2の経費。										
効 率 化 に 係 る 計 画 の 状 況	計 画 の 有 無	公立病院改革プランの中で位置づけ										
	計 画 の 名 称 ※新たな経営計画等を策定している場合のみ記載											
	策 定 日 ※新たな経営計画等を策定している場合のみ記載	平成		年		月		日				
	対 象 期 間	平成		21 年度		～		平成		25 年度		
	目標値の設定の有無 (複数回答可)	☐	経常収支比率の目標値あり									
	☐	職員給与と費比率の目標値あり										
	☐	病床利用率の目標値あり										
	☐	その他の目標値あり										
		目標値はない										
経 営 効 率 化 に 係 る 計 画 及 び 実 績	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	備考	
	経常収支比率(目標値)	—	100.4	100.8	101.2	101.6	100.1	102.0				
	経常収支比率(実績値)	103.0	101.4	103.0	102.1	102.5	101.9	101.5	—	—		
	職員給与と費比率(目標値)	—	60.3	60.6	60.1	60.0	62.2	59.3				
	職員給与と費比率(実績値)	58.8	59.5	60.2	60.6	60.6	61.2	58.4	—	—		
	許可・稼働の別	病床利用率(目標値)	—	78.3	77.5	77.9	78.6	83.0	80.0			
	稼働	病床利用率(実績値)	83.2	79.5	80.2	73.4	74.9	87.5	79.3	—	—	
		平均在院日数(目標値)	—	13.5	14.0	14.0	14.0	13.0	13.0			
		平均在院日数(実績値)	15.4	13.3	12.2	10.9	13.0	12.4	13.1	—	—	
		患者1人1日当たり診療収入(入院)(目標値)	—	31,798	33,500	33,900	34,100	38,350	38,000			
		患者1人1日当たり診療収入(入院)(実績値)	31,273	33,936	35,061	36,448	37,851	38,210	37,193	—	—	
		患者1人1日当たり診療収入(外来)(目標値)	—	8,910	9,320	9,500	9,600	11,375	11,000			
		患者1人1日当たり診療収入(外来)(実績値)	8,471	8,633	8,708	9,605	10,641	10,895	11,105	—	—	
	上記目標数値設定の考え方		入院・外来患者単価については、各診療科による医療機能の整備及び診療報酬制度DPCを反映したものとしている。 (経常黒字化の目標年度： 年度)									

					団体名 (病院名)		徳島県つるぎ町 つるぎ町立半田病院								
公立病院としての医療機能に係る数値目標及び実績(主なもの)					19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	備考	
手術件数(目標値)					—	723	742	760	767	480	600				
手術件数(実績値)					761	725	711	672	539	564	596	—	—		
時間外患者数(目標値)					—	7,383	7,445	7,503	7,563	5,000	5,500				
時間外患者数(実績値)					7,467	7,870	8,517	6,019	4,843	4,805	4,589	—	—		
経営効率化に係る計画及び実績	数値目標達成に向けての具体的な取組計画及び実績	民間的経営手法の導入	計画					実績							
			○健全経営に向けた取組として、組織の活性化と職員の資質と意欲の向上を目指し、職員の経営認識の共有とともに業績評価に反映していくため、人事評価制度の構築に取り組んでいる。 ○平成20年度より、収支に基づく診療科等の部門別収益状況を把握するため、原価計算を導入。 ○医師等職員に対する業績給の導入。					達成	職員に目標設定シートを配布し、職能級に応じ各自目標を設定。上半期、下半期ごとに上司が評価						
		事業規模・形態の見直し	計画					実績							
			平成16年度から地方公営企業法全部適用					達成	全部適用を継続中。						
		経費削減・抑制対策	計画					実績							
			○平成21年度からの診療報酬制度DPCの導入により、変動経費である材料費を抑制に取り組む。うち、薬品費では、後発医薬品の促進を図るほか、診療材料費についても安価な同等品への移行に努め、院内一括管理により在庫品を抑制する。 ○管理的経費の抑制に向けた取り組みとして、省エネ対応照明器具への取り換えを実施しており、光熱費の抑制を図る。					達成	材料費について、単価の見直しや、同等品への変更で、約60万の削減。薬品費については、DPC分での後発品への促進を図る。材料比率17.5%(うち薬品10.5%)						
		収入増加・確保対策	計画					実績							
			○透析の患者数が増加傾向となる中、地域の医療ニーズへ対応するため透析システムの増設、効率的な医療の提供と安定した収益の確保を目指す。 ○当院への産科集約化もあり、産科医療の充実と収益の確保を図る。 ○良質な医療の提供と収益性の向上を図るため、DPC制度による適正な診療報酬の確保に努める。					達成	透析システムを一部新しく更新、リースに変更。 入院・外来患者数の増加により、医業収益を確保した。						
		その他	計画					実績							
								達成							
								未達成	分娩数は平成23年度をピーク(約600件)に減少している。本年度539件						
								未達成							
	各年度の決算状況					別紙のとおり									
	その他の特記事項	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本的見直し、施設の増改築計画の状況等	計画					実績							
								達成							
								未達成							

		団体名 つるぎ町立半田病院 (病院名)		
再編・ネットワーク化に係る計画及び実績	二次医療圏内の公立病院等配置の現況(地図は別添)		西部医療圏においては、半田病院、県立三好病院、市立三野病院となっている。 ※H25. 4 第6次徳島県保健医療計画より	
	都道府県医療計画等における今後の方向性		徳島県地域医療対策協議会による「再編・ネットワーク化」への方向性についての提案によれば、県西部の深刻な医師不足の状況と将来の人口動態等を踏まえ、県西部圏域における公立3病院の統合・再編を含め、限られた医療資源でいかに住民が安心して暮らせる医療提供体制を確保するかの検討を進める必要がある。 さらには、過疎地域・中山間地域における医療と安心を確保するため、公立診療所の診療体制、診療支援体制を維持していく必要があるとされている。	
	再編・ネットワーク化計画の策定の有無		策定済	
	再編・ネットワークの結論の取りまとめ(予定)時期		平成 20 年 10 月 日	
	再編・ネットワーク化の計画期間		平成 20 年度 ～ 平成 25 年度	
	再編・ネットワーク化計画の概要	実施の有無	実施済	
		【実施済】又は【枠組合意(実施中)】の場合右欄に記入	①再編・ネットワーク化計画の具体的な内容(詳細は別紙添付)	②実績又は進捗状況
			徳島県地域医療対策協議会による提案書公表 ○当面の方策 県立三好病院、市立三野病院、町立半田病院では、西部保健医療圏公立3病院会議において、平成20年10月30日に締結した「徳島県西部保健医療圏における適正な医療を確保するための協定書」に掲げる連携・協力事項を推進する。 ○将来の方向性 大部分の医療ニーズに対応可能な拠点病院機能を整備し、地域病院・診療所とのネットワーク体制を構築する方策を検討。	県西部医療圏に位置する公立3病院間で相互医師派遣協定を締結している。 本年度より、公立3病院(三好、三野、半田)と民間病院(ホウエツ)間で、医療情報共有ネットワーク事業が完了し、地域連携のネットワーク体制を構築した。
		【検討中】の場合右欄に記入	①再編・ネットワーク化の検討体制	②再編・ネットワーク化検討の方向性及びスケジュール
【実施しない】場合右欄に記入	理由			
経営形態見直しに係る計画及び実績	実施の有無	見直し予定なし		
	【見直し実施済】の場合右欄に実施時期を記入	平成 年 月		
	【見直し合意済】の場合右欄に実施予定時期を記入	平成 年 月		
	【見直し実施済】又は【見直し合意済】の場合右欄に記入	見直し実施前の経営形態		見直し実施後の経営形態
		⇒		
				その他の場合、その内容
		①経営形態見直し計画の具体的な内容(詳細は別紙添付)	②実績又は進捗状況	
	【検討中】の場合右欄に記入	検討の方向性※複数回答可	地方公営企業全部適用	
			地方独立行政法人	
			指定管理者制度(利用料金制)	
指定管理者制度(代行制)				
民間譲渡				
診療所化				
老健施設等医療機関以外の事業形態への移行				
その他				
その他の内容				
【見直し予定なし】の場合右欄に記入	理由			
地域唯一の公立病院として、救急医療をはじめとした地域医療の中核を担っているほか、当院は国保診療施設であり、地域住民への包括医療支援を使命とする中、病院事業管理者のもと行政と連携する現状の経営形態が必要である。				

点 検 ・ 評 価 ・ 公 表 等	プランの平成25年度実施状況に係る点検・評価の状況 (予定含む)	実施(予定)	今年度実施予定			
		実施(予定)時期	平成	26 年	7 月	12 日
	上記評価の客観性の確保の状況 (予定含む)	委員会等設置(予定)	あり			
		委員会等の体制	外部有識者や地域住民等が参加する委員会等			
		委員会名	半田病院経営委員会			
		その他				
	上記点検・評価内容の情報開示の状況 (予定含む)	公表(予定)	あり			
		公表の内容	平成25年度事業報告、平成26年度事業計画、改革プラン検証			
		公表の手段	半田病院のホームページにて公表			
		実施(予定)時期	平成	26 年	10 月	日
	平成25年度実績を踏まえたプラン変更有無(予定含む)	実施(予定)	なし			
		実施(予定)時期	平成	年	月	日

(2) 改革プラン達成状況

(経営効率化指標)

1. 財務に係る数値目標

項 目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
					目標値	実績	達成度
経常収支比率	A	A	A	A	102.0	101.5	B
職員給与費比率	A	B	B	A	59.3	58.4	A
病床利用率	A	C	B	A	80.0	79.3	B
平均在院日数	A	A	A	A	13.0	13.1	B
患者1人1日当たり診療収入(入院)	A	A	A	B	38,000	37,193	B
患者1人1日当たり診療収入(外来)	C	A	A	B	11,000	11,105	A

2. 医療機能に係る数値目標

項 目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
					目標値	実績	達成度
手術件数	B	C	C	A	600	596	B
時間外患者数	A	C	C	B	5,500	4,589	C

(注) 達成度 A: 目標どおり達成 B: 概ね達成 (95%以上) C: 未達成 (95%未満)

(3) 改革プラン達成状況

1. 決算状況（収益的収支）

（単位：百万円、％）

年度		19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)
区分								
収入	1. 医 業 収 益 a	2,101	2,107	2,171	2,204	2,235	2,172	2,314
	(1) 料 金 収 入	2,014	2,023	2,086	2,102	2,101	1,992	2,180
	(2) そ の 他	87	84	85	102	134	180	134
	うち他会計負担金	37	36	41	70	107	157	106
	2. 医 業 外 収 益	92	83	100	84	96	88	83
	(1) 他会計負担金・補助金	45	45	67	39	68	49	50
	(2) 国（県）補助金	9	5	7	17	8	6	9
	(3) そ の 他	38	33	26	28	20	33	24
	経 常 収 益 (A)	2,193	2,190	2,271	2,288	2,331	2,260	2,397
支出	1. 医 業 費 用 b	2,017	2,050	2,099	2,132	2,163	2,125	2,257
	(1) 職 員 給 与 費 c	1,235	1,253	1,308	1,336	1,355	1,329	1,352
	(2) 材 料 費	377	371	351	364	364	343	405
	(3) 経 費	286	296	321	319	321	300	352
	(4) 減 価 償 却 費	112	104	111	107	116	120	130
	(5) そ の 他	7	26	8	6	7	33	18
	2. 医 業 外 費 用	112	110	106	109	110	94	105
	(1) 支 払 利 息	72	68	64	61	58	56	53
	(2) そ の 他	40	42	42	48	52	38	52
	経 常 費 用 (B)	2,129	2,160	2,205	2,241	2,273	2,219	2,362
経 常 損 益 (A)－(B) (C)		64	30	66	47	58	41	35
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	2	4	3	5	4	6	5
	2. 特 別 損 失 (E)	5	2	2	9	214	31	33
	特 別 損 益 (D)－(E) (F)	△ 3	2	1	△ 4	△ 210	△ 25	△ 28
純 損 益 (C)＋(F)		61	32	67	43	△ 152	16	7
累 積 欠 損 金 (G)		405	373	306	263	415	399	392
不良債務	流 動 資 産 (ア)	669	696	817	721	1,036	711	676
	流 動 負 債 (イ)	157	123	170	117	111	197	124
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	396	0	0
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額(エ)	0	0	0	0	0	0	0
	差引 不良債務(オ) [(イ)－(エ)]－[(ア)－(ウ)]	△ 512	△ 573	△ 647	△ 604	△ 529	△ 514	△ 552
単 年 度 資 金 不 足 額 (※)		△ 74	△ 61	△ 74	43	75	15	△ 38
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$		103.0	101.4	103.0	102.1	102.5	101.9	101.5
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$		△ 24.4	△ 27.2	△ 29.8	△ 27.4	△ 23.7	△ 23.7	△ 23.9
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$		104.2	102.8	103.4	103.4	103.3	102.2	102.5
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$		58.8	59.5	60.2	60.6	60.6	61.2	58.4
地方財政法施行令第15条第1項により算定した資金の不足額(H)		0	0	0	0	0	0	0
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$		0	0	0	0	0	0	0
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の資金不足比率		0	0	0	0	0	0	0
病 床 利 用 率		83.2	79.5%	80.2%	73.4%	74.9%	87.5%	79.3%

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」＝「N年度の不良債務額」－「N－1年度の不良債務額」

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること

例)「23年度単年度資金不足額▲30百万円」＝「23年度不良債務額▲20百万円」－「22年度不良債務額10百万円」

2. 決算状況(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)
区 分								
収 入	1. 企 業 債	13	26	0	0	210	217	10
	2. 他 会 計 出 資 金	0	0	0	0	0	0	0
	3. 他 会 計 負 担 金	77	92	99	71	78	74	43
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	322	0	0
	6. 国 (県) 補 助 金	3	3	3	45	15	406	70
	7. そ の 他	0	1	0	3	0	0	0
	収 入 計 (a)	93	122	102	119	625	697	123
	うち翌年度へ繰り越される 支 出 の 財 源 充 当 額 (b)	0	0	0	0	396	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0
	純計(a)-[(b)+(c)] (A)	93	122	102	119	229	697	123
支 出	1. 建 設 改 良 費	23	63	59	172	260	1,097	128
	2. 企 業 債 償 還 金	180	161	156	154	211	138	147
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0
	支 出 計 (B)	203	224	215	326	471	1,235	275
	差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	110	102	113	207	242	538	152
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	110	102	113	207	242	142	152
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	396	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0
	計 (D)	110	102	113	207	242	538	152
	補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0
	当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (F)	0	0	0	0	0	0	0
	実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)
収 益 的 収 支	() 82,591	() 81,576	(25,000) 108,098	() 109,266	(15,000) 175,000	() 205,577	() 156,630
資 本 的 収 支	() 77,409	(13,219) 91,643	(2,794) 99,696	() 70,734	(322,242) 400,000	() 74,423	() 43,370
合 計	() 160,000	(13,219) 173,219	(27,794) 207,794	() 180,000	(337,242) 575,000	() 280,000	() 200,000

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

4. 中・長期経営計画策定に向けた課題

(1) 国の動向

国は社会保障と税の一体改革により、年金・医療・介護・子育ての4分野に対し、消費税の増収分2.8兆円を財源とし、社会保障の安定と充実を図るとしております。医療・介護分野には、このうちの1.5兆円が配分されており、次の事業の推進と方向性を挙げています。

持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律

平成25年12月13日公布

医療・介護分野における方向性(厚生労働省発表)

○「病院完結型」から、地域全体で治し、支える「地域完結型」へ

○受け皿となる地域の病床や在宅医療・介護を充実。川上から川下までのネットワーク化

○地域ごとに、医療、介護、予防に加え、本人の意向と生活実態に合わせて切れ目なく継続的に生活支援サービスや住まいも提供されるネットワーク(地域包括ケアシステム)の構築

○国民の健康増進、疾病の予防及び早期発見等を積極的に促進する必要

(2) 当院の課題

*当院は、高度医療を行う急性期病院からの地域の受け皿になる地域の連携病院である立ち位置をさらに明確化する必要があります。このためにも、院内に地域包括ケア病床の開設することに積極的に取り組む必要があります。

また、当該医療圏での地域包括ケアシステムを構築すべく、訪問看護ステーション・介護施設・行政とも深く連携し、全人的かつ継続的な診療を行う病院へ変わっていくことが必要とされていることがわかります。

そして、その中には、健診業務・予防接種業務、健康講座の開催などの地域全体の健康増進にも深くかかわっていくことも含まれます。

(2)人口推計

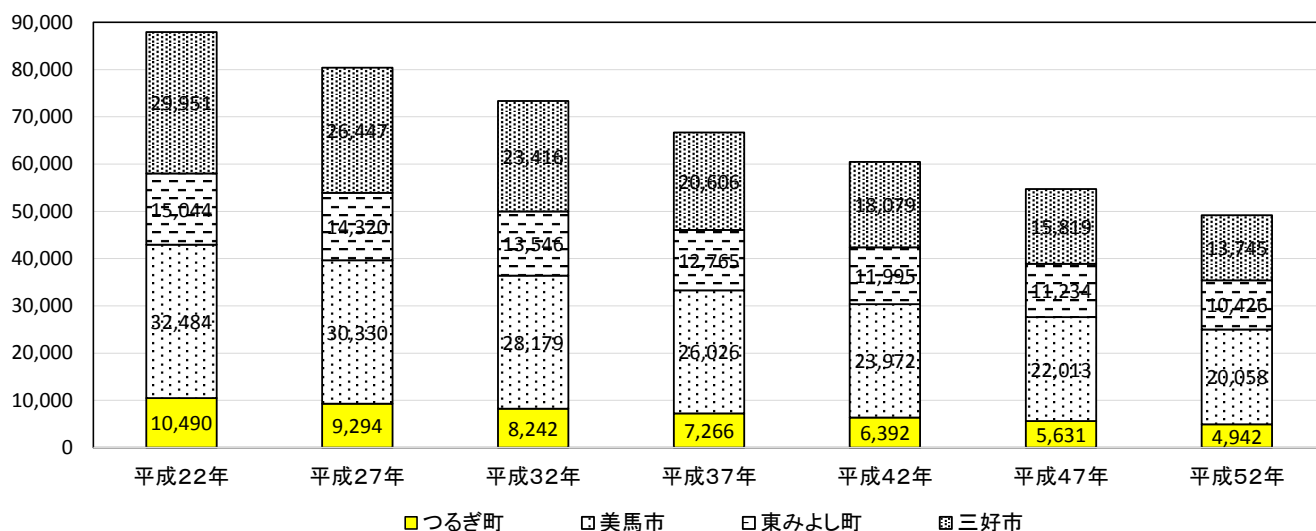
将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所:平成25年3月推計)

○総人口の推計

(数値:人)

	平成22年	減員数	平成27年	減員数	平成32年	減員数	平成37年	減員数	平成42年	減員数	平成47年	減員数	平成52年
つるぎ町	10,490	-1,196	9,294	-1,052	8,242	-976	7,266	-874	6,392	-761	5,631	-689	4,942
美馬市	32,484	-2,154	30,330	-2,151	28,179	-2,153	26,026	-2,054	23,972	-1,959	22,013	-1,955	20,058
東みよし町	15,044	-724	14,320	-774	13,546	-781	12,765	-770	11,995	-761	11,234	-808	10,426
三好市	29,951	-3,504	26,447	-3,031	23,416	-2,810	20,606	-2,527	18,079	-2,260	15,819	-2,074	13,745
合計	87,969	-7,578	80,391	-7,008	73,383	-6,720	66,663	-6,225	60,438	-5,741	54,697	-5,526	49,171

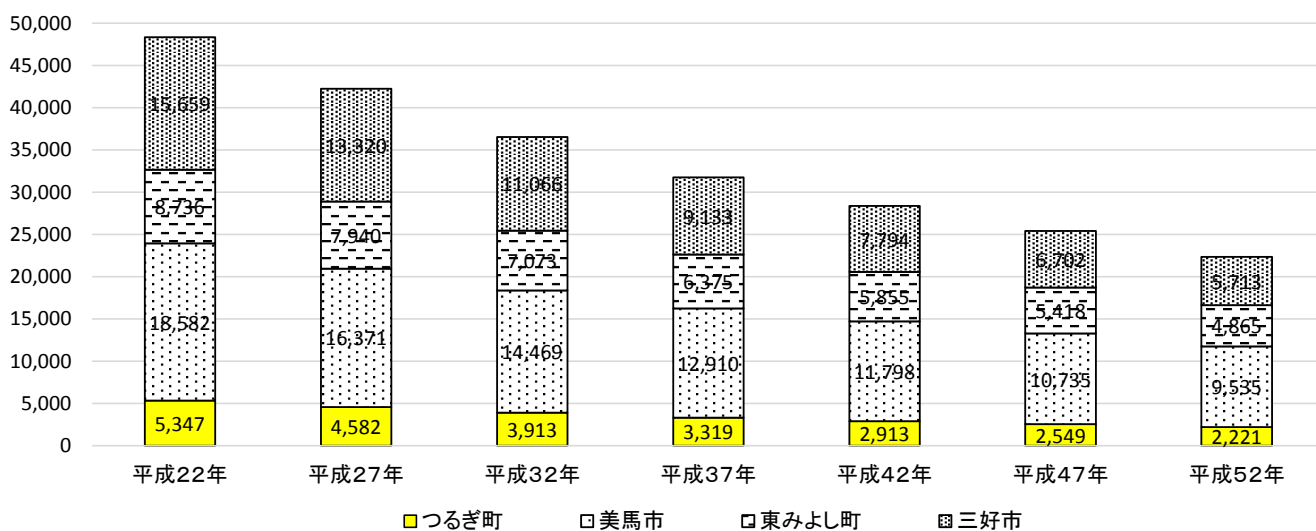
総人口の推計



○生産年齢人口(15歳以上～65歳未満)の推計

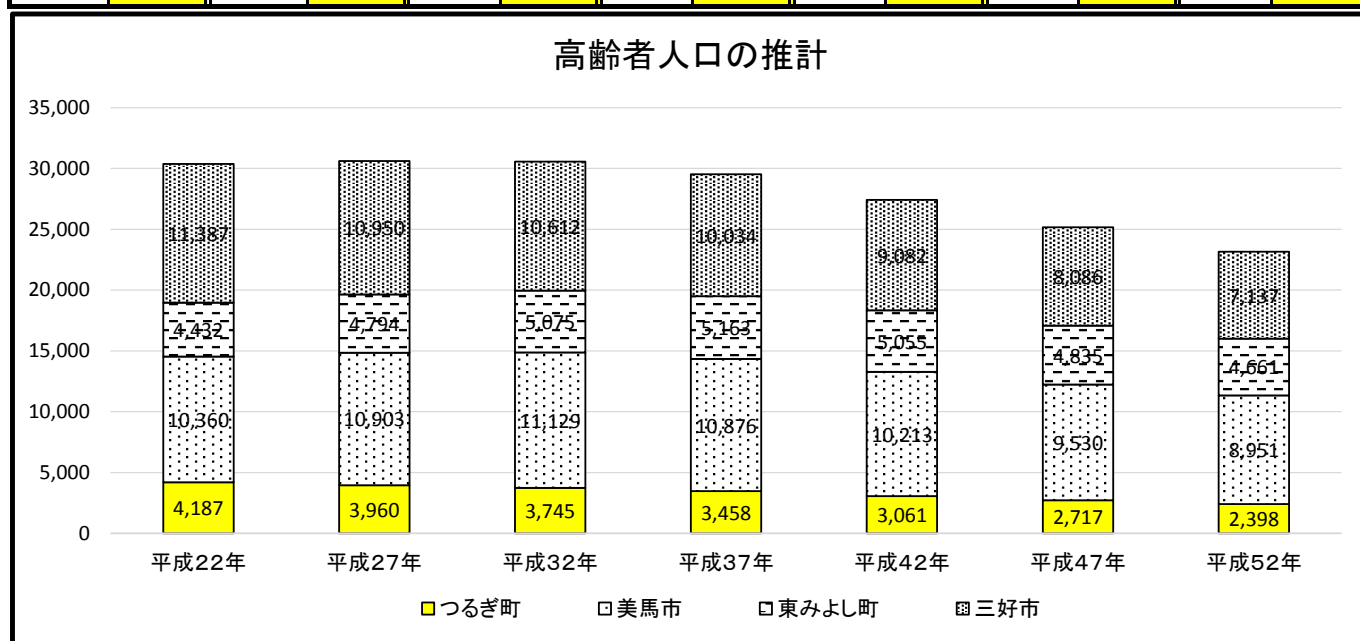
	平成22年	減員数	平成27年	減員数	平成32年	減員数	平成37年	減員数	平成42年	減員数	平成47年	減員数	平成52年
つるぎ町	5,347	-765	4,582	-669	3,913	-594	3,319	-406	2,913	-364	2,549	-328	2,221
美馬市	18,582	-2,211	16,371	-1,902	14,469	-1,559	12,910	-1,112	11,798	-1,063	10,735	-1,200	9,535
東みよし町	8,736	-796	7,940	-867	7,073	-698	6,375	-520	5,855	-437	5,418	-553	4,865
三好市	15,659	-2,339	13,320	-2,254	11,066	-1,933	9,133	-1,339	7,794	-1,092	6,702	-989	5,713
合計	48,324	-6,111	42,213	-5,692	36,521	-4,784	31,737	-3,377	28,360	-2,956	25,404	-3,070	22,334

生産年齢人口の推計



○高齢者人口(65歳以上)の推計

	平成22年	減員数	平成27年	減員数	平成32年	減員数	平成37年	減員数	平成42年	減員数	平成47年	減員数	平成52年
つるぎ町	4,187	-227	3,960	-215	3,745	-287	3,458	-397	3,061	-344	2,717	-319	2,398
美馬市	10,360	543	10,903	226	11,129	-253	10,876	-663	10,213	-683	9,530	-579	8,951
東みよし町	4,432	362	4,794	281	5,075	88	5,163	-108	5,055	-220	4,835	-174	4,661
三好市	11,387	-437	10,950	-338	10,612	-578	10,034	-952	9,082	-996	8,086	-949	7,137
合計	30,366	241	30,607	-46	30,561	-1,030	29,531	-2,120	27,411	-2,243	25,168	-2,021	23,147



人口の動向等

当院の医療圏である県西部地域の人口推計を調べてみますと、5年後に約9%、10年後には約17%、20年後には約32%の人口が減少すると推測されています。中でも、生産年齢人口の減少の程度が激しいことが推測されています。また、高齢者人口においても10年ほどは横ばいが続きますが、以降は、一気に減少していくことが見込まれています。

これらの人口推計からは、中期的には、地域の少子高齢化が顕著となることが予想され、より高齢者にシフトした医療展開が必要であると見えてきます。しかし、長期的には、総人口が減少していく環境下で、当院は、病院機能の縮小を余儀なくされるようになることも想定されます。

このように、地域の将来展望は予断を許さない状況が見込まれるほか、国の動向に大きく左右される病院経営を計画するうえでは、中長期の計画は、明確な方向性が作れないのが現状です。

現状では、今回の厚労省の指針に即した病院運営に方向転換をしながら、周囲の人口・また、周囲の医療環境に柔軟に対応した病院運営を進めるしかないと考えております。

○県西部地域の人口推計等

	H22 (4年前)	対H22年 減員数 減少率	H27 (1年後)	対H27年 減員数 減少率	H32 (6年後)	対H27年 減員数 減少率	H37 (11年後)	対H27年 減員数 減少率	H42 (16年後)	対H27年 減員数 減少率	H47 (21年後)	対H27年 減員数 減少率	H52 (26年後)
総人口	87,969	-7,578 -8.6%	80,391	-7,008 -8.7%	73,383	-13,728 -17.1%	66,663	-19,953 -24.8%	60,438	-25,694 -32.0%	54,697	-31,220 -38.8%	49,171
生産年齢人口	48,324	-6,111 -12.6%	42,213	-5,692 -13.5%	36,521	-10,476 -24.8%	31,737	-13,853 -32.8%	28,360	-16,809 -39.8%	25,404	-19,879 -47.1%	22,334
高齢者人口	30,366	241 0.8%	30,607	-46 -0.2%	30,561	-1,076 -3.5%	29,531	-3,196 -10.4%	27,411	-5,439 -17.8%	25,168	-7,460 -24.4%	23,147